

全船協

会報136号 2018年1月 新春号



弓削商船高等専門学校校内練習船「弓削丸」
弓削商船高等専門学校提供



一般社団法人 **全日本船舶職員協会**

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <http://www.zensenkyo.com>

山友汽船株式会社

代表取締役社長 望月正信

〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号
TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520
Email: sanyuksn@violin.ocn.ne.jp

B&S ENTERPRISE

株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ
TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972
Email: info@bands-k.com



北星海運株式会社

代表取締役社長 佐藤有造

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号
セントラルビル6階

電話 (03) 3275-5520(代) FAX (03) 3275-5575

一般社団法人 日本船長協会

会長 葛西 弘樹

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3265-6641
FAX (03) 3265-8710
<http://www.captain.or.jp>

一般社団法人 海洋会

会長 山本 勝

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地
(海事センタービル6階)

電話 (03) 3262-8632
FAX (03) 3262-6909



一般社団法人

日本船舶機関士協会

会長 井手 祐之

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3264-2518
E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp
URL <http://www.marine-engineer.or.jp>

人と海に未来を

公益社団法人 日本海難防止協会

会長 工藤 泰三

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目1番3号
磯村ビル6階

電話 (03) 3502-2231
<http://www.nikkaibo.or.jp>
E-mail: 2231jams@nikkaibo.or.jp

海事業界メディアのバイオニア

日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

試読・購読のお申し込みは

電話 **03-3436-3222** まで

電子版サービス「マリナビ」は
www.marinavi.com へ

海上の友

船員と船員家庭のタブロイド版新聞 毎月1日発行
年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別

お申し込み
お問い合わせ (公財)日本海事広報協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6
電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580

海運業界出身の転職コンサルタントが対応!

海技者の転職 ならキャプランへ

海運 キャプラン 検索



転職支援・人材採用のお問合せ (担当: 佐々木)
電話 **03-6778-5514** marine@mail.caplan.jp
キャプラン株式会社 東京都千代田区大手町2-6-2

鹿児島水先区水先人会

会長 松下 忠夫

副会長 橋之口 勉

水先人 今村 義幸

〒891-0122 鹿児島市南栄5丁目10-8
電話 (099) 260-7707
FAX (099) 260-7717



目 次

表紙・・・弓削商船高等専門学校校内練習船「弓削丸」	
年頭所感・・・日本メーカーの不祥事多発を憂う	会長 岩田 仁・・・ 2
第1回平成30年役員候補選考委員会開催報告	事務局・・・ 3
役員候補者募集公示	事務局・・・ 13
函館商船学校に係った人々Ⅱ	北海道函館水産高校教諭 我妻 雅夫・・・ 19
OB会	名誉会員 田中 善治・・・ 24
函館港物語パート3	NPO函館写真の会 野戸 崇治・・・ 26
神戸といち会ゴルフコンペ	神戸支部長 福地 赳雄・・・ 31
提言 全船協でこれからできることを考える	理事 松見 準・・・ 32
やぶにらみ南半球世界一周クルーズ（後編）	元日本郵船機関長 吉野 克男・・・ 34
会社紹介 栗林商船株式会社	・・・ 43
海事ニュース	・・・ 46
海運・造船業界の求人動向（2017年12月末月現在）	㈱キャプラン・・・ 48

北から南から

富山高等専門学校	・・・ 49
鳥羽商船高等専門学校	・・・ 56
広島商船高等専門学校	・・・ 61
大島商船高等専門学校	・・・ 64
弓削商船高等専門学校	・・・ 68
海技教育機構	・・・ 72
本部・支部だより	事務局・・・ 75
会費納入者御芳名	事務局・・・ 77
時事寸評・・・表紙写真解説	編集後記
	事務局・・・ 80

年 頭 所 感

日本メーカーの不祥事多発を憂う

会長 岩田 仁



新たな年の幕開けに当たり、洋上で職場の仲間とともにまた陸上で家族とともに新年を迎えた会員の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様にとって今年も幸多い、安らかな年でありますようお祈り申し上げます。

振り返ると昨年は日本の製造業に不祥事の目立つ年でした。戦後、安かろう悪かろうと買いたたかれ、揶揄されてきた日本製品の信頼を高めるために製造技術の向上と品質管理に心血を注ぎ込んできたはずの大企業に相次いで不祥事が判明した。

世界の一流企業となった自動車メーカーでは最終出荷検査で不法検査が発覚した。検査資格の無い検査補助員が検査し有資格者の印鑑を盗用するという不適切な行為が常態化されていた。

また、素材メーカーでは製鋼、金属、繊維・化学と各企業で次々と製品の検査データの改ざんが発覚している。いずれも大手優良企業である。改ざんにより重大事故に至った例は報道されていないが、日本の素材メーカーの信頼は揺らいでいると言えよう。日本製品のブランド力に大きな禍根を残した。

数年前には免震ゴムのデータ改竄や大手不動産会社の売り出した人気マンションで基礎工事の

打ち込み杭のデータ改ざんにより通路にひずみが出るという信じ難い事件もあった。

不正の実態が社内でもどのように認知されその情報がどのように取り扱われていたかはメーカーにより異なる。現場だけで止まっているケース、品質管理担当者も承知しているケース、トップまで承知していたケースなど各社いろいろである。

原因は利益優先、現場の人手不足、社内のコミュニケーション不足等を挙げている識者もいるが、根本は経営者の現場技術の軽視があるように思う。

2年ごとに開催される技能オリンピックで日本は2009年のカナダ大会において金メダル獲得数で首位の座を韓国に譲って以来低迷しており、昨年のアブダビ大会では首位中国15個に対し日本はたった3個で9位となっている。

日本の技術力が世界から高く評価されているが、現状は技能オリンピックの成績からしても現場の技術力が低下してきているように思える。日本メーカーの初心に帰っての奮起を期待する。

私たち船の世界では動力エネルギーが風力から石炭へそして重油へと転換され運航技術もそれにつれ進化してきた。

今までは安全、安定、経済的な運航で良しとされてきたが、これからはそのうえ地球にやさしい走りが求められている。

その結果燃料は重油からLNGへと転換が進みつつあり、更にその先には水素燃料や燃料電池も視野にある。

私たちは現場の技術力を磨き船舶運航の新時代に備えよう。

第1回平成30年役員候補選考委員会開催報告

事務局

11月20日千代田区和泉橋区民館において来年の総会における新役員選出に合わせ役員候補選考委員会が開催されましたので議事録を添えご報告申し上げます。

平成29年11月20日

平成30年役員候補者選考委員会

第1回平成30年役員候補者選考委員会議事録



- 1 日時：平成29年11月20日（月）18時00分～19時45分
- 2 場所：千代田区和泉橋区民館2A
事務局より開会宣言
- 3 委員の確認（順不動）
川越 義人、木村 和也、水野 博之、加藤信一、七呂 光雄、師富 潤、
井上 喜三郎、立石 尚登、清崎 哲也、三輪 史郎、加山 文治、小松 和夫
会長より出席委員への委嘱状が手交された。
書記及び議事進行：田島事務局長
- 4 出席者（順不同、敬称略） 理事総数12名
委員 出席者8名（規則第2条3項及び7項に定める定足数の過半数以上の出席）
川越 義人、水野 博之、加藤信一、師富 潤、井上 喜三郎、清崎 哲也、
三輪 史郎、小松 和夫
欠席者4名
木村 和也、七呂 光雄、立石 尚登、加山 文治
事務局より出席委員及び欠席委員が確認され、定足数に達しており、委員会が
成立する旨の報告があり、その後委員長を選任へ移った。
オブザーバー 及川 専務理事
- 5 委員長の選任 委員互選により川越 義人氏が委員長に立石 尚登氏が副委員長に選任
された。
- 6 議事録署名人 委員長川越義人及び副委員長立石尚登
- 7 議事内容 平成30年役員候補者選出に必要な業務
①役員候補者選考委員会の業務
事務局より（資料—1）に従い今後の委員会業務の内容及び流れが事
務局より説明がなされた。
特に理事の選出方法及び理事15名枠の内3名については会員以外か
らの役員推薦もあり得ること（理事会承認済み）が説明、確認された。
②役員候補者選考規則

事務局より役員候補者選考規則に従い説明がなされ確認された。

事務局より（資料—2）に従い説明がなされ確認された。

③選考委員会の設置について

事務局より（資料—3）の本選考委員会のスケジュール表、役員立候補者募集公示（案）及び参考資料に基づいて説明がなされ、確認された。

第2回委員会の開催時期は1月中旬以降の予定となっているが、委員長より本日欠席となっている立石副委員長のスケジュールに合わせた日程を検討願いたいとの発言があり、事務局としては基本的に了承した。

又、会員以外の3名枠候補者の推薦があった場合は、その候補者について理事会に報告し、理事会の了承を得た上で、立候補名簿に記載し会長に報告、3月に開催される平成29年度第3回理事会に立候補者の名簿を報告する。故に会員以外の立候補者については本委員会には関与しないことも確認され、委員長は第1回委員会の終了を宣した。

以上の議論を明確にするため、次に記名捺印する。

平成29年11月20日

議事録署名人 委員長 川越 義人



平成30年役員候補者選考委員会委員名簿

区分	氏名	連絡先		備考
		電話	メール	
富山	川越 義人	047-392-6532	kawagoe@k.email.ne.jp	現企画財政副委員長
	木村 和也	080-1112-8275	6704992@mclc.co.jp	現広報・HP委員
鳥羽	水野 博之	043-484-3940(内線2520)	hiroyuki.mizuno@jp.fujikura.com	
		043-486-4850		
	加藤 信一	047-745-8203	shinichi-kato@nipponyuka.com	前回の当該委員
広島	七呂 光雄	090-1217-6176	kg12683@icloud.com	前事務局長
	師富 潤	090-4619-8048	morod-i@ex.iino.co.jp	現財政企画委員
大島	井上喜三郎	080-5547-3269	k.inoue@kfz.biglobe.ne.jp	前回の当該委員
	立石 尚登	090-9002-7678	n-tateishi@nsu-naiko.co.jp	現企画財政委員
弓削	清崎 哲也	03-5439-0266	kvzktamaisp@docomo.ne.jp	現広報・HP委員
			t.kiyozaki@tamaiship.co.jp	
	三輪 史郎	03-3506-6788	miwa-x@ex.iino.co.jp	現企画財政委員長
その他	加山 文治	045-461-0597	kavamabunji@gmail.com	前理事
	小松 和夫	045-621-3280	ktw-06siriuz@softbank.ne.jp	前回の当該委員

役員選挙にあたっての業務

立候補者募集

- ・ 理事は 10 名以上 15 名以内、監事は 2 名の候補者を決める。(定款第 24 条)
- ・ 理事は選考規則第 4 条 (資料-2) に定める学校単位で各 2 名を決める。
- ・ 監事は従来の慣例により、各単位から輪番で選出するが、2 期 4 年間就任をお願いし、一期ごとにずらして選出する。したがって、今回は鳥羽から新しく 1 名の立候補をお願いする。もう 1 名は本望隆司氏 (富山) であるが今回 2 期目で継続立候補していただく。
- ・ 公示期間の検討、別紙理事会資料を参照 (資料-3)
- ・ 立候補届用紙の書式の検討 (資料-2 の書式)
- ・ 立候補者は抱負を記載してもらうよう配慮する。(広報ホームページ委員会からの要望)
- ・ 立候補募集締め切り後の名簿の作成。
- ・ 定めのない事項は、役員選考委員会で検討し、会長に報告する。
- ・ 役員候補者選考委員会の委員が役員に立候補した場合は委員を辞任するが補充はしない。(規則第 2 条第 9 項)

立候補者の調整

- ・ 自薦の立候補者はすべて受け入れる。
- ・ 各選挙単位で立候補者が無い場合は、選考委員会として立候補者を推薦する。
- ・ 各選挙単位で 2 名の枠を超えた立候補があった場合、選考委員会が調整する。調整ができない場合は、そのまま立候補者に加え総会の投票により当選を決める。

選考委員会の解散

- ・ 立候補者名簿を作成したら、結果を会長に報告する。
- ・ 3 月下旬の平成 29 年度第 3 回理事会に立候補者の名簿を報告し、選考委員会を解散する。

理事会から総会までの措置

- ・ 4 月下旬の平成 30 年度第 1 回理事会で総会提案議案と役員候補者リストを決定し、総会議案書として作成し、総会招集状と共に全会員に送付する。

総会での選出

- ・ 総会の投票により理事の当選者を決定する。
- ・ 総会に出席できない会員は、委任・代理人出席または書面表決 (メールなど電子的投票を含む) の意思表示してもらう。これらの投票も投票数に加えられる。
- ・ 当選は総会員数の過半数以上の得票が必要である。
- ・ 定員以上の立候補者がある場合は、過半数の得票を得た候補者から得票数の多い順に定

員枠に達するまでの者を選任する。(定款第 19 条第 3 項)

業務執行理事の選出

- ・ 総会後ただちに臨時理事会を開催し、理事の中から代表理事 1 名及び業務執行理事 3 名以内を互選する。
- ・ 代表理事は会長に就任する。
- ・ 業務執行理事の中から副会長 2 名以内、専務理事 1 名を選定する。

			資料-3	
	H30年役員選考スケジュール案			
実施時期	決定機関	検討事項	内容	選考規則
2017/10/7	第2回理事会(済み)	役員選考委員会の設置時期	2017年12月中旬	2-(2)
		区分別選考委員数及び委員の選出方法	8名以上12名以内	2-(3)
		区分別理事・監事候補の推薦数	理事 12名	3-(3)
			監事2名	3-(3)
		正会員以外からの役員推薦の扱い	有り	8-(2)
2017/11/20	第1回役員選考委員会	委員の確認	委嘱状の発行	2-(5)
		委員長の選出		2-(4)
		事務は本会事務局が担当		2-(6)
		過半数の出席で成立		2-(7)
		議事は出席委員の過半数で決する		2-(8)
		選考委員が役員候補者となった場合委員の資格を失う		2-(9)
		候補者応募開始と締切時期の決定	2017/12/8~2018/1/19	5-(1)
2017年12月中旬		候補者募集開始		
2018年1月中旬		候補者応募締切		
2018年1月下旬	第2回役員選考委員会	選考作業実施		5条
		必要に応じて候補者調整		5条
2018年2月中旬	第3回役員選考委員会	役員推薦名簿作成		
2018年3月下旬	第3回理事会	役員候補者の報告と選考委員会の解散		6条
		役員推薦名簿承認		
2018年4月下旬	第1回理事会	総会議案として会員に公表し議決権に供する		7条
2018年6月	総会	理事・監事の選出		
2018年6月	臨時理事会	代表理事・業務執行理事の選出		

平成29年 11月20日

役員立候補者募集公示(案)

一般社団法人全日本船舶職員協会
役員候補者選考委員会
委員長

一般社団法人全日本船舶職員協会は、役員(理事・監事)の任期が2年となっており、現役員の任期は平成30年度通常総会をもって終了いたします。

そのため、以下の要領で候補者を公募して平成30年6月に予定される通常総会において新役員を選任することを下記の通り公示いたします。

記

募集要項

1. 立候補資格(役員候補者選考規則、第8条)

正会員で、会費を3年以上未納となっていないこと。

2. 募集する役員の種類(定款、第24条、役員候補者選考規則第4条、第5条)

理事10名以上15名以内(役員候補者選考規則第8条2項の3名を含む)。監事2名。
役員候補者選考規則第4条により、次の立候補区分から理事及び監事の立候補者を募ります。

- (1) 富山高等専門学校商船学科卒業生
- (2) 鳥羽商船高等専門学校商船学科卒業生
- (3) 弓削商船高等専門学校商船学科卒業生
- (4) 広島商船高等専門学校商船学科卒業生
- (5) 大島商船高等専門学校商船学科卒業生
- (6) 上記を除く本協会の正会員

各区分毎の立候補定員に満たない時、または超過した場合は役員候補者選考委員会が理事会で決めた各推薦数(理事2名、監事は輪番制)を基に調整させていただきます。

3. 募集期間

募集開始 平成29年12月8日(金)

募集締め切り 平成30年 1月19日(金)(立候補届は締切日までに全船協本部に必着のこと。)

4. 立候補届の書式並びに提出先

別紙書式若しくは、同書式記載の項目を記載した文書・電子メール・FAXなど記録に残る方法により提出してください。

役員に当選するためには、**全会員数の過半数以上の得票が必要です**、会員が投票しやすいよう自らの立候補の抱負や意見を記入してください。

宛先

郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-32 金子ビル 206号

(一社)全日本船舶職員協会 役員候補者選考委員会委員長 宛

電子メール honbu@zensenkyo.com

FAX 03-3230-2653

5. 役員選考の流れ

役員選考の流れは、役員候補者選考委員会により立候補者を確定し、その名簿を3月 予定の第3回理事会に総会の議案として提案されます。

この理事会決定を受けて総会議案として5月早々に全会員に通知いたします。会員は、この立候補者に投票してください。投票方法として、次の方法があります。

- ① 総会（6月）に直接参加して各候補者に投票する場合。
- ② 総会に参加できないので書面評決を行う場合。

議案書に同封された投票用紙に、各候補者への投票を行い（書面評決）本部に送付する。この意思表示はメールやFAXなど電子的方法でも良い。

- ③ 総会に参加できないので、代理の人に代理出席してもらい投票する。
- ④ 総会に参加できないので委任する。

総会に参加する会員に委任し、投票を委任者の意思にゆだねる。

総会で得票の多い順に当選者が選任されます。

6. 会長・副会長・専務理事の選出

選任された理事により、総会后臨時理事会を開催し互選により、会長・副会長（2名以内）・専務理事（1名）を選定します。この3役は定款上の業務執行理事となります。

参考資料

立候補届

平成29年12月8日～平成30年1月19日

役員任期・報酬・職務など

1. 役員任期（定款第28条）

選任後2年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する通常総会の時までとする。再任は妨げない。

2. 役員報酬（定款、第30条）

役員は無報酬とする。但し、常勤の役員には、その職務執行の対価として報酬を支給することができる。また、役員には職務を執行するに要する費用を支払う事が出来る。

3. 理事の職務（理事会運営規則、第15条）

理事会が決議すべき事項は、次のとおりとする。

(1) 法令に定める事項

- ① 本協会の業務執行の決定
- ② 代表理事(並びに業務執行理事)の選定・解職
- ③ 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
- ④ 重要な財産の処分及び譲受
- ⑤ 多額の借入
- ⑥ 重要な使用人の選任・解任
- ⑦ 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
- ⑧ 内部管理体制の整備
- ⑨ 定款第31条に規定する理事の取引の承認
- ⑩ 事業計画書及び収支予算書等の承認
- ⑪ 事業報告及び計算書類等の承認
- ⑫ その他法令に定める事項

(2) 定款に定める事項

- ① 規則の制定、変更及び廃止
- ② 会長、副会長、専務理事の選定・解職
- ③ 公益目的不可欠特定財産の維持、管理及び処分の決定
- ④ 基本財産の維持、管理及び処分の決定
- ⑤ 委員会の設置・運営に必要な事項の決定
- ⑥ 定款第32条の責任の一部免除
- ⑦ その他定款に定める事項

(3) その他重要な業務執行に関する事項

- ① 重要な事業その他の契約の締結、解除、変更
- ② 重要な事業その他の争訟の処理
- ③ その他、理事会が必要と認める事項

4. 理事会の種類及び開催(定款、第37条)

- 1 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする。
- 2 通常理事会は、毎事業年度4カ月以上の間隔で2回以上開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 会長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって会長に招集の請求があったとき
 - (3) 前号の請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
 - (4) 第27条第5号の規定により、監事から会長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき
- 4 理事の理事会への委任や代理出席は、できない。

5. 監事の職務・権限(定款、第27条)

監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること
- (2) 本協会の業務及び財産の状況を調査すること、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること
- (3) 総会及び理事会に出席し、必要あると認めるときは意見を述べること
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれのあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを総会及び理事会に報告すること
- (5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること
- (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査結果を総会に報告すること
- (7) 理事が本協会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれがある場合において、その行為によって本協会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その理事に対しその行為をやめることを請求すること
- (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること

立候補届用紙はページの都合上割愛しました。(役員候補者募集公示を参照)

平成29年12月8日

役員立候補者募集公示

一般社団法人全日本船舶職員協会
役員候補者選考委員会委員長

一般社団法人全日本船舶職員協会は、役員（理事・監事）の任期が2年となっており、現役員の任期は平成30年度通常総会をもって終了いたします。

そのため、以下の要領で候補者を公募して平成30年6月に予定される通常総会において新役員を選任することを下記の通り公示いたします。

記

募集要項

1. 立候補資格（役員候補者選考規則、第8条）

正会員で、会費を3年以上未納となっていないこと。

2. 募集する役員の種類（定款、第24条、役員候補者選考規則第4条、第5条）

理事10名以上15名以内（役員候補者選考規則第8条2項の3名を含む）。監事2名。
役員候補者選考規則第4条により、次の立候補区分から理事及び監事の立候補者を募ります。

- (1) 富山高等専門学校商船学科卒業者
- (2) 鳥羽商船高等専門学校商船学科卒業者
- (3) 弓削商船高等専門学校商船学科卒業者
- (4) 広島商船高等専門学校商船学科卒業者
- (5) 大島商船高等専門学校商船学科卒業者
- (6) 上記を除く本協会の正会員

各区分毎の立候補定員に満たない時、または超過した場合は役員候補者選考委員会が理事会で決めた各推薦数（理事2名、監事は輪番制）を基に調整させていただきます。

3. 募集期間

募集開始 平成29年12月8日（金）

募集締め切り 平成30年 1月19日（金）（立候補届は締切日までに全船協本部に必着のこと。）

4. 立候補届の書式並びに提出先

別紙書式若しくは、同書式記載の項目を記載した文書・電子メール・FAXなど記録に残る方法により提出してください。

役員に当選するためには、**全会員数の過半数以上の得票が必要です**、会員が投票しやすいよう自らの立候補の抱負や意見を記入してください。

宛先

郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-32 金子ビル 206号

(一社)全日本船舶職員協会 役員候補者選考委員会委員長 宛

電子メール honbu@zensenkyo.com

FAX 03-3230-2653

5. 役員選考の流れ

役員選考の流れは、役員候補者選考委員会により立候補者を確定し、その名簿を3月予定の第3回理事会に総会の議案として提案されます。

この理事会決定を受けて総会議案として5月早々に全会員に通知いたします。会員は、この立候補者に投票してください。投票方法として、次の方法があります。

① 総会（6月）に直接参加して各候補者に投票する場合。

② 総会に参加できないので書面評決を行う場合。

議案書に同封された投票用紙に、各候補者への投票を行い（書面評決）本部に送付する。この意思表示はメールやFAXなど電子的方法でも良い。

③ 総会に参加できないので、代理の人に代理出席してもらい投票する。

④ 総会に参加できないので委任する。

総会に参加する会員に委任し、投票を委任者の意思にゆだねる。

総会で得票の多い順に当選者が選任されます。

6. 会長・副会長・専務理事の選出

選任された理事により、総会後臨時理事会を開催し互選により、会長・副会長（2名以内）・専務理事（1名）を選定します。この3役は定款上の業務執行理事となります。

参考資料

立候補届

平成29年12月8日～平成30年1月19日

役員任期・報酬・職務など

1. 役員任期（定款第28条）

選任後2年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する通常総会の時までとする。
再任は妨げない。

2. 役員報酬（定款、第30条）

役員は無報酬とする。但し、常勤の役員には、その職務執行の対価として報酬を支給することができる。また、役員には職務を執行するに要する費用を支払う事が出来る。

3. 理事の職務（理事会運営規則、第15条）

理事会が決議すべき事項は、次のとおりとする。

(1) 法令に定める事項

- ① 本協会の業務執行の決定
- ② 代表理事(並びに業務執行理事)の選定・解職
- ③ 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
- ④ 重要な財産の処分及び譲受
- ⑤ 多額の借入
- ⑥ 重要な使用人の選任・解任
- ⑦ 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
- ⑧ 内部管理体制の整備
- ⑨ 定款第31条に規定する理事の取引の承認
- ⑩ 事業計画書及び収支予算書等の承認
- ⑪ 事業報告及び計算書類等の承認
- ⑫ その他法令に定める事項

(2) 定款に定める事項

- ① 規則の制定、変更及び廃止
- ② 会長、副会長、専務理事の選定・解職
- ③ 公益目的不可欠特定財産の維持、管理及び処分の決定
- ④ 基本財産の維持、管理及び処分の決定
- ⑤ 委員会の設置・運営に必要な事項の決定
- ⑥ 定款第32条の責任の一部免除
- ⑦ その他定款に定める事項

(3) その他重要な業務執行に関する事項

- ① 重要な事業その他の契約の締結、解除、変更
- ② 重要な事業その他の争訟の処理
- ③ その他、理事会が必要と認める事項

4. 理事会の種類及び開催(定款、第37条)

- 1 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする。
- 2 通常理事会は、毎事業年度4カ月以上の間隔で2回以上開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 会長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって会長に招集の請求があったとき
 - (3) 前号の請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
 - (4) 第27条第5号の規定により、監事から会長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき
- 4 理事の理事会への委任や代理出席は、できない。

5. 監事の職務・権限(定款、第27条)

監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること
- (2) 本協会の業務及び財産の状況を調査すること、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること
- (3) 総会及び理事会に出席し、必要あると認めるときは意見を述べること
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれのあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを総会及び理事会に報告すること
- (5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること
- (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査結果を総会に報告すること
- (7) 理事が本協会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれがある場合において、その行為によって本協会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その理事に対しその行為をやめることを請求すること
- (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること

立 候 補 届

一般社団法人 全日本船舶職員協会
役員候補者選考委員会委員長 殿

役員候補者選考規則第 10 条に基づき、平成 3 0 年役員選挙への立候補をお届け
します。

年 月 日

項 目	内 容	
立候補する役職	理 事	監 事 (どちらかに○印)
立候補者名		
会員番号		
自宅住所		
経歴 (学歴)		
抱負・意見		
生年月日		
連絡先	電話	
	F A X	
	E - mail	

氏名 _____ 印

立 候 補 届 (推薦)

一般社団法人 全日本船舶職員協会
 役員候補者選考委員会委員長 殿

役員候補者選考規則第 10 条に基づき、平成 3 0 年役員選挙への立候補者の推薦
 をお届けします。

年 月 日

項 目	内 容	
立候補する役職	理 事	監 事 (どちらかに○印)
立候補者名		
会員番号		
自宅住所		
経歴 (学歴)		
推薦理由		
生年月日		
連絡先	電 話	
	F A X	
	E - mail	

推薦者 氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

函館商船学校に関わった人々(Ⅱ)

北海道函館水産高等学校教諭 我妻雅夫

1 はじめに

この度も執筆の機会を頂戴してありがとうございます。

今回は、「函館商船学校に関わった人々(Ⅱ)」と題して、卒業生、教員、学外関係者について記します。

2 卒業生

今 武平 氏は、明治元年、青森県弘前に生まれ、函館県立時代の商船学校の卒業生。日本郵船の外国航路船長を務めた。今東光・今日出海ご兄弟のお父上。インターネット情報によれば、「日本郵船時代の青函連絡船“田子浦丸”船長を務め、(青森) 県人初の外国航路船長免状を持った男に違いない」と紹介されている。

川崎 陸奥男 氏は、昭和2年、航海科卒業生。青森県出身。商船勤務の後、趣味の短歌が嵩じて青森県の「石川啄木」の研究者になる。青森県にある石川啄木の碑の建立に尽力した。「川崎むつを」のペンネームで、自身の商船学校生徒・船員時代の経験を詠んだ「出帆旗」を出している。現在、復刻版が出ているので購入可能である。

本の表紙はP旗をあしらった装丁で、信号旗を知っている人なら誰でも「おやっ、P旗？」と気付いて、手に取ってみたいくなる本である。



写真1 歌集「出版旗」

(写真1)

水上 源一 氏は、昭和5年の航海科の卒業生で、卒業後、日本大学の法科に学んだ。その後、帝国陸軍青年士官たちとの交流を通して、2・26事件に連座し、決起した青年将校らと同じく刑死した。

津村 茂 氏(写真2)は、昭和9年の機

科の卒業生。函館市浅野町に「函東工業(株(真3))」を設立し、中小型鋼船の建造及び修繕を主な事業としている。函館市船見町にある名刹「高龍寺」境内に函館商船学校「招魂碑」(写真4)を勧請し、長く函館商船学校関係者の絆作りに奔走した。



写真2 「津村茂」氏像



写真3 函東工業(株)



写真4 「招魂碑」

3 教員

ウィリアム・レニー 先生は、1866年(慶応2年)、カナダに生まれ、トロント大学卒業。

1906年(明治39年)来函。函館中学(現函館中部高校)、函館商業学校(現函館商業高校)、函館工業学校(現函館工業高校)、函館師範学校(現北海道教育大学函館分校)、函館商船学校で英会話を教えた。街に出ては貧しい子ども達に食糧を与え、



写真5 レニー先生碑
※インターネットから引用

キリストの教えを説いた。1941年(昭和16年)、敵性外国人ということでカナダに強制帰国させられた。1971年(昭和46年)、先生を慕う教え子・関係者によって、函館市時任町の児童遊園地内にレニー先生碑(写真5)が建てられ、函館では、毎年、この地でレニー先生を慕う「レニー祭」が行われてきた。しかし、関係者の高齢化で現在は取りやめになっている。

「レニー祭」は、函館市内の高校の英語関係者を中心に行われていて、函館水産高校には無縁のものだと私は思っていた。ところが、函館商船学校最後の卒業生が作った「北海道庁立函館商船学校第31回卒業記念写真帖」(写真6)を見て、先生が商船学校にも勤務していたことを知って驚いた(写真7)。先生の遺徳を偲ぶと共に、函館商船学校にも勤務した事実を継承するためにも、函館水産高校が音頭をとって「レニー祭」を復活したいと考えている。



図6 北海道庁立函館商船学校第31回卒業記念写真帖



写真7 レニー先生を囲む函館商船学校生(卒業記念写真帖から)

柴野 庄司 先生(写真8)は、函館商船学校に勤務し、商船学校廃校後、そのまま函館水産学校(現函館水産高等学校)に勤務した。校長にと請われても固辞し、長く教頭として函館水産学校草創期の礎を築き、初代校長「荻原 茂」先生共々、生徒に大変慕われた。



写真8 柴野庄司先生
(卒業記念写真帖から)

大橋 荘二 先生も、函館商船学校に勤務し、商船学校廃校後、そのまま函館水産学校に勤務した。昭和10年6月23日に行われた開校祝賀式に校歌が間に合わず、急遽、荻原校長が自ら詞を書き、大橋先生が曲を付け、「開校歌」として式典で歌われた。開校歌は、その後、長く第二校歌のごとく歌われ、1998(平成10年)、函館水産高等学校の中庭に、第一期生らが中心となって「校舎落成記念碑」(写真9)を建て、その中に「開校歌」の歌詞を刻んだ。

余談ではあるが、現在の函館水産高校の校歌は、作詞が、♪都の西北……の作詞者「相馬御風」、作曲は、♪海ゆかば……の作曲者「信時 潔」である。



写真9 校舎落成記念碑

4 学外関係者

高木 宏二 氏(写真 10)は、東京商船大学機関学部を卒業後、青函連絡船の機関士・機関長・船舶関係業務に従事した方で、2004年(平成 16年)に、「函館商船学校…その歴史と廃校の考察」を上梓した。私が函館商船学校の歴史に関心を持つきっかけとなった本であり、先生のお住まいがご近所ということもあり、微に入り細に入りご指導を賜っている。その後 2012年(平成 24年)に「道南の海の碑…語り継ぐ海難」を出版した。野に捨てられたようにたたずむ碑を丹念に現地踏査して仕上げたこの本も、先生の情熱を感じる一冊である。先生の真実を徹底的に取材して調べ上げる姿勢には頭が下がる。



写真 10 函館商船学校旗と高木先生

中山清太郎 先生(写真 11)は、大戦中、函館水産学校に学び、卒業して大戦後、母校、函館水産高等学校の教員になった。先生は、水産学校生徒時代に、函館商船学校から引き継いだ巨大木造模型帆船「北光丸」の威風堂々とした姿を見て育ち、戦後、母校教員として戻った時は、校舎の隅に打ち捨てられた無残な「北光丸」を見た。「北光丸」の明暗を見た先生は、奉職中、心を痛めていた。1981年(昭和 56年)、全船協創立 50周年記念事業として「北光丸」の修復の話しが持ちあがり、「北光丸」は練習船「大成丸」(橋本進船長)によって函館から横浜に運ばれ、横浜帆船模型同好会の手によって修復された。



写真 11 函館商船学校旗と中山先生

この間、先生は、横浜に運ばれた「北光丸」がその後どうなっているか、横浜を訪れては、その消息を追った。全船協から(社)横浜港振興協会に寄贈された「北光丸」が、横浜港旅客船ターミナルに永久展示されたことを知った先生は、ようやく安堵したようだ。

先生宅は私の通勤路に在り、先生からは、高木先生同様、色々と教えをいただいた。2010年(平成 22年)10月 29日に、函館水産高校の修学旅行団が、横浜にある「北光丸」に函館商船学校旗を掲揚するイベントを大変喜んでくださった。このイベントのアイデアは、「竣工したばかりの北光丸」を撮影した白黒写真(写真 12)を先生からネガごと譲り受けたことに始まる。写真のミズンマストトップに掲げられた旗をルーペで調べたら、旭日の中に錨とコンパスカードをデザインした「函館商船学校々旗」(写真 13)が描かれていたのだ。

その後、2012年(平成 24年)に「北光丸」へ日章旗を掲げたり、2013年(平成 25年)に「北光丸」前で函館商船学校校歌(前半)と函館水産高等学校校歌を織り交ぜた曲「海の絆」(作道幸枝さん編曲)を演奏したりするきっかけになった。

先生から 2年間ほどご教示いただいた後、先生は、突然、お亡くなりになりました。当時も今も、もっともっと教えていただきたいことが山ほどあり、とても残念でならない。



写真 12 竣工直後の「北光丸」



写真 13 函館商船学校旗レプリカ

田村 和子 さん (写真 14) は、「北海道庁立函館商船学校第 31 回卒業記念写真帖」を撮影・上梓した「紺野写真館」のお嬢様。田村さんは、この写真帖を函館中央図書館と全船協へ寄贈した方で、写真帖は全船協のホームページで全ページ閲覧可能である。

田村さんは、子どもの頃、紺野写真館を訪れた商船学校の生徒のことを今でも覚えている。みんな立ち居振る舞いがスマートで、いかにも商船学校の生徒さんらしかったそうだ。



写真 14 田村和子さん

井上 能孝 先生 (写真 15) は、函館水産高等学校の英語教師として勤務して、新聞部を全道のトップクラスへ導いた。2002 年 (平成 14 年) に「箱館英学一見て歩き候…もし箱館に黒船が来なかったら…」を上梓し、ペリー来航の歴史をライフワークとしている。現在は、1854 年 (安政元年) に箱館に来航したペリー一行の足どりを研究し、「(陸の) ペリーロード」と銘打ったルート割り出しを行っている。

先生のご尊父「井上剛」氏は、函館商船学校機関科を 1921 年 (大正 10 年) に卒業し、稚泊航路勤務後、青函連絡船勤務となった方である。



写真 15 井上能孝先生

浪岡 哲史 先生 (写真 16) は東京商船大学商船学部機関学科を卒業し、青函連絡船勤務の後、岩手県立宮古水産高等学校に勤め、その後、函館水産高等学校に奉職



写真 16 寺島船長と浪岡哲史先生

し、現在に至っている。先生は、高木宏二先生の後輩になり、高木先生が本校で保管している函館商船学校時代の書籍・航海計器等を調べるために来校した時のお手伝いをした。その後、本校図書室の書籍整理の際、商船学校の書籍について何も知らない図書室担当教員が、不用意に函館商船学校時代の書籍を廃棄対象にした。浪岡先生は訳を説き、寸前で廃棄を食い止めたことがあった。先生が機転をきかさなければ、貴重な書籍はゴミとして捨てられるところであった。

花田 順悦 先生 (写真 17) は、本校漁業科の卒業生で、民間会社に勤務した後、小樽水産高等学校に勤務し、現在、函館水産高等学校勤務である。先生と函館商船学校のつながりは、昭和 56 年に「北光丸」が「大成丸」で横浜に運ばれる時に生徒として本校に在籍していたことで、現在、本校に残っている「積み出し直前の北光丸」の写真 (写真 18) に写っている生徒はクラスメートだそうだ。北光丸が運び出される情報は先生には伝わってなくて、知らないうちに運び出されたそうだ。



写真 17 「北光丸」と花田順悦先生



写真 18 積み出しを待つ「北光丸」

橋本 進 船長は、昭和 56 年に「大成丸」で「北光丸」を横浜に運んだ時の船長である。横浜帆船模型同好会員として「北光丸」修復作業も手掛けたとのこと。その後、2012 年（平成 24 年）、本校修学旅行の中で「北光丸に日章旗を掲げるイベント」を「北光丸」前で開催した折、船長にはご挨拶をいただいた（写真 19）。これに先立ち、船長は、「北光丸は、日本帆船模型作りのレベルを世界に曝す模型なので、日章旗を掲げる時の滑車もスケールを合わせ、掲げ方も本物同様にしなければならない」という考えで、自ら滑車を製作してくださったと聞く。



写真 19 「北光丸」と橋本進船長

西牧 誠・眞規子 夫妻（写真 20）は、函館商船学校の教諭であり、校長職（校長事務取扱）も務めた「熊谷亥之助」氏のお孫さん。誠氏は朝日大学名誉教授で、平成 28 年秋の叙勲で、「瑞宝中授章」を受賞。眞規子様は、朝日大学法学部准教授で定年退職し、ご先祖をテーマにした小説を二冊上梓している。「二羽の鷹」と「尾白鷺」である。「尾白鷺」の中で熊谷亥之助について詳しく描写している。そのような関係もあって、2012 年（平成 24 年）、の「北光丸に日章旗を掲げるイベント」には、横浜まで駆けつけてくださり、ご挨拶をいただいた。



写真 20 「北光丸」と西牧ご夫妻

おわりに

今回は、欲張って総花的に関係者を紹介しました。書き終えて、取材と調査が足りないこと、紹介した方の人物像やエピソードを語り尽くしていないこと、反省しています。ただ、時間を超えて函館商船学校に関係する人たちが過去も現在もいらっしゃることを伝えたい一心で書きました。誰かが伝えないと、埋もれてしまう。人の生き様の一片でも掘り起こされたとき、活字だけだった人物が人格を持って迫ってきます。そのところをお届けできればと思って書きました。（了）

OB会

名誉会員 田中善治

海運会社の貨物船で船員として苦楽を共にしてきたOBの集いに参加した。現役を退いて既に20～40年、平均年齢は80歳ぐらいか。船員の出身地は全国に亘っているため、一堂に会することは無理であり、関東地区とか九州地区など地域ごとに開催している。私は今春初めて東北・関東地区（会津東山）と中国地区（笠戸島）から案内を頂き参加した。両地区とも年々参加者数が減ってきており前者は同伴者を含めて21名、後者は32名だった。

当日、宴会場に集まる前からすでにビールと仲良しになって陽気に振る舞う者もいて、再会を心底楽しんでいた。

私は昭和35年5月入社した。2年後T社と合併したことにより社船34隻、船員1,735名とほぼ倍増した。昭和49年、一等航海士の仕事にも慣れ充実していたのに、社命で労務課に勤務することとなり、想像もしていなかった陸上のサラリーマンとなった。仕事は当時1,462名在籍していた船員の人事・労務・福利厚生全般である。

その中に毎月船から送られてくる時間外労働記録簿の査定があった。対象船員は約30隻の船長、機関長を除く約1,000名。船種、職種、航路、積荷、整備作業、当直、荷役作業等々、現場に思いを巡らし、経験で得た知識のあれこれを駆使して一人ひとりの勤務状態を観察する。規定労働時間をオーバーしていれば時間外労働として割増賃金を支払うことになるので微妙に神経を使う。このようなことを四年半も続けた結果、全船員の職種と名前が何時とはなく巧まらずして脳裏に残ったのであった。ただし、

実際に乗り合わせて容姿を記憶しているのは多く見積もっても400名ぐらいだろう。その他は

勤務簿にある職名と名前は、毎月大量に処理しなければならぬ私にとっては単なる記号でしかないことになる。

昭和47年4月、産別労組である全日本海員組合（組織人員約16万人）は船員労働運動、並びに海運界史に残る91日間の大ストライキに突入した。翌年から数年続いたオイルショックで経済界は省エネ、省力化を旗印に技術・経営革新に乗り出した。船員費削減を目指し労使交渉の結果、昭和57年任意退職者優遇措置と甲機両用部員を採用、更に昭和59年選択定年制を実施し、リストラと称する大規模な人員整理を敢行した。その結果、昭和49年1,462名だった船員は10年後1,067名、20年後218名、33年後は実に22名にまで激減した。その穴埋めは賃金の安い開発途上国の船員が担った。

外国との貿易に頼らなければ生きていけない島国日本の船員は経済的理由によりマイナーな存在となった。ナショナルセキュリティ上も、これを容認する者はいないと思うが……。

夕方、幹事に促されて宴会場に入る。席は自由とのこと。以前から交友のあった者はさっさとグループを作って着席。私も嘗ての飲み仲間を見つけて席に着く。取りあえず近くの席に着いた者が気になってそっと見渡すが、どこのどなたかさっぱりわからない。それもその筈、会うのは40数年ぶりなのだ。船舶という厳しい生活・労働環境にあって、我武者羅に働いていた面々は今、全身が枯れ木のごとく、顔つきも言動も、最早蘇生はおぼつかないなあ～、と思う。志半ばにリストラされた憂い漂う目で、互いに昔の記憶を頼りに旧友を探し回る。

幹事は挨拶数十秒の後、85歳の長老を乾杯の音頭取りに指名した。その長老も軽く咳払い一

つで「乾杯！」。長年同じ釜の飯を食った同士、ビールグラスを一気に傾け、早速宴会がはじまった。

職制上か、はたまた本社で労務担当していたからか、私のことを皆知っていてくれていたが、私には相手の顔と名前が一致しない。あの顔は確か〇〇君？と思っても名前が出ず、不意に符丁のように名前が浮かんでも顔と一致しない。次第にイライラしてくる。そもそも会ったこともない人かも知れないのだ。

酔いが回らぬうちに何とか全員の顔と名前の一覧表を頭に叩き込もうと頑張ってみる。席を立て、まず近くの席に近づきこちらから名乗ってみる。相手は当然、自分のことを知っている筈と思っているから「やあ！しばらく」と言っただけで乾杯となる。そして私には全く記憶のかけらもない良くないエピソードを喋り出す。「田中」と聞くとすぐ思い出すエピソードだという。名前を確認しないままほうほうの体で次の席に移動。

自分にとって有利なものは記憶に残るが、不利なものは忘れようとするし、思い出したくない。そのうちにその不利なことは、実はなかったのだ・・・に至り、記憶から完全に消えてしまう。一方、相手から見れば他人の失敗や失態はよく記憶される。それによって自分が心理的により有利な存在となるからであろう。記憶とは実に身勝手に厄介なものである。

数人と面談しているうちにビールも増量し、脳は快適にしびれてくる。何人目かに、私が三等航海士の時インド洋航海中、大晦日の祝い酒に酔って航海当直勤務不能に陥り、船長に大迷惑をかけた・・・、というエピソードを皆の前で得意になって披露した。これまた私には全く記憶がないので、もし、それが事実なら職務怠慢、或いは職場放棄でその時馘首になっている筈、と言いつつ張ったが、相手は更にテンションをあげて座を盛り上げるばかりであった。私もこれを否定すればするほど気が高ぶって酔いが深化した。

長いこと海上で生活してきた元船員、それぞれ喜怒哀楽の記憶をアルコールの力を借りて話し出す。こうなると声の大きい者の独壇場となるのは必然であろう。

ホテル自慢の料理も出尽くし、カラオケでがなる者もでてくると座は無秩序に沸騰する。顔と名前の一覧表作りなど、もうどうでもよくなって、誰彼かまわず肩をたたき合いグラスを傾ける。気丈に振る舞っていた幹事も閉会のタイミングを逸したのか、ホテルの従業員に体よく促されてようやく閉会を宣言した。

翌朝、昨夜は何事もなかったかのように皆「しらっつ」とした顔でロビーに集まり、再会を約して解散となった。

帰りの電車の中で、新緑の山河をボケーッと眺めながら昨夜のことを所在なく思ってみる。思い出そうとしている訳ではないのに、何時しかある一事に思いは留まる。そして、ほのかに、少しずつ記憶が戻ってきて・・・愕然とする。

大晦日の祝い酒に酔って、一生を棒に振るような、大・大失態を演じたこと・・・。

(平成29年8月28日 記)

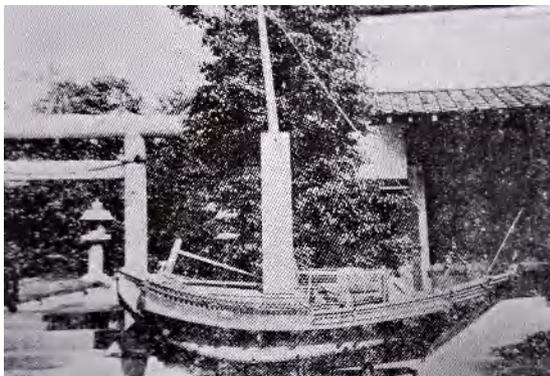
函館港物語 パート3

NPO 函館写真の会 野戸 崇治

: 港の変遷を駆け足でまとめます。

4. 箱館港の発展と現在

はなしは大昔にさかのぼります。1796年、高田屋嘉兵衛が千石船の辰悦丸で箱館にやってきます。ペリーが箱館にやってくる50年以上前のことです。嘉兵衛は幕府の信用を得て海運や漁場開拓で豪商となり、高田屋の本店を箱館におきます。そして大きく発展した箱館港に蝦夷地最初の造船所を作り、多くの船の新造・修理を行います。これが函館の造船の歴史の始まりです。

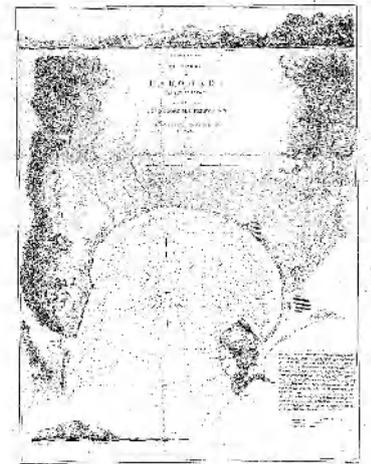


七宮仁社高田屋根模型

高田屋嘉兵衛は商売をスタートさせた神戸の七宮神社に、3隻の大きな模型船を奉納して海上安全を祈願しました。しかし残念ながら、第二次大戦末期の昭和20年神戸大空襲によりすべて焼失してしまいました。

嘉兵衛の58年後、1854年にペリーがやってきました。ペリーはこの時函館港の詳細な海図を作っています。そしてこのとき、ペリーの黒船に乗

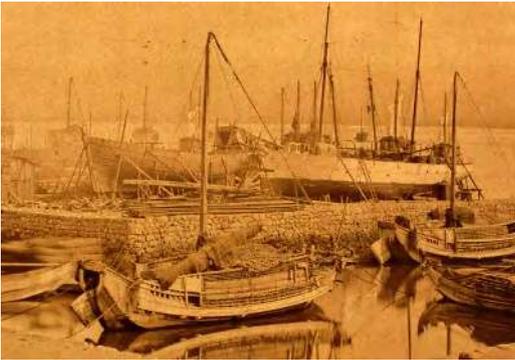
り込んでその構造を研究した続 豊次(つづきとよじ)が、1856年箱館奉行の命で洋式船の製造を始めます。



ペリー作成函館港海図

続は、高田屋の造船所で修行した船大工です。はじめは端艇から、続いてスクナーの箱館丸、そして同じくスクナーの亀田丸を建造します。

明治8年、和船の新造が禁止となり、函館では明治14年までに西洋型帆船が約60艘新造されました。このころから300t級の造船ができるようになり、函館器械製造所、函館造船所、そして現在の函館船渠、函館どつくと名前を変えながら、今に残る大型造船が可能な造船会社が育ちました。造船はあらゆる工業技術を総合した産業であり、多くの大小の造船所とともに函館の工業は発展してきました。



明治11年の島野造船所

写真は明治11年の島野造船所と最近の函館どっくの大型船進水式、船台から進水した直後です。船の右側後方に小さく見守る関係者が見えます。



函館どっくの大型船進水式

江戸末期の高田屋嘉兵衛のころから、水産物の中継基地としての函館港の役割は荷扱い量の増加とともに大きくなり、明治27年の日清戦争・明治37年の日露戦争と時代とともにますます増大しました。1970年ころまで続いた北洋漁業は莫大な富を生みました。幾多の曲折を経て、鮭鱒、蟹、鯨をとる漁船（独航船）が工船である母船を中心に船団を組んで北洋に向けて出漁するようになりました。



漁船（独航船）



昭和28年ころの出漁時の写真

写真は昭和28年ころの出漁時の写真です。多くの船団は函館を母港としました。そのため、出航前は船団の食糧日用品などの積み込み、戻ってくると漁獲物の取り卸し流通などで、港は活況を呈し街中が大賑わいでした。それが徐々に衰退し、1976年、米ソが漁業専管水域を200海里としたことによ



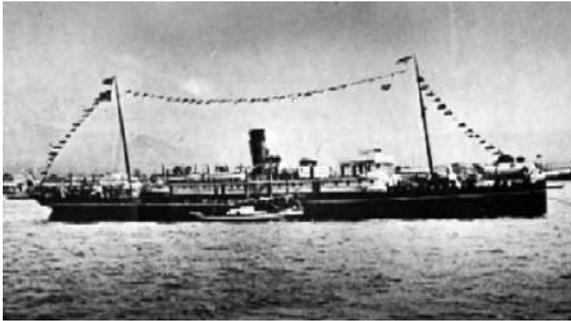
母船式鮭鱒船

り、徐々に下火となり1988年ついに母船式鮭鱒船団は終わってしまいました。いまは合併してしまいましたが、ニチロ漁業やマルハ漁業、大洋漁業、そして日本水産などは、このころの北洋漁業を基盤としてできた会社です。

さて、交通の要衝としての函館港をみてみます。江戸時代末期になると、ロシアの南下政策と相まって蝦夷地、当時の北海道に開拓の目が向けられます。大きな港は箱館だけだったので、蝦夷地の

玄関としての役割を担った函館港は、人と物の行き来で活況を呈しました。時代は明治となり、明治政府の開拓使は明治 5 年、奥地札幌までの馬車の通行が可能な道路建設を 2 年で完成させました。

その後、明治 37 年函館—小樽間の北海道鉄道が完成します。



「比羅夫丸」(旅客定員 328 人・載貨量 239 トン)



2代目の田村丸

津軽海峡の海運の重要性も増してきました。青森函館間は日本郵船なども航路を持っていましたが、明治 39 年に誕生した日本国有鉄道が当時の最新鋭船である「比羅夫丸」(旅客定員 328 人・載貨量 239 トン)を就航させ、主役は国鉄航路になりました。こうして函館港の重要性はいやがおうにも増したのです。

写真は、初代連絡船となった比羅夫丸と 2 代目の田村丸です。この 2 船は全く同じ構造だったの

で塗装を一部ちがえてあったそうです。そして栄誉ある比羅夫丸の初代船長は、東京商船大学を卒業した函館出身の熊谷猪之助でした。

最盛期には海峡の女王とまで言われた青函連絡船ですが、忘れられない事件が 2 つあります。一つは、第二次世界大戦終了直前昭和 20 年 7 月 14 日の艦載機による鉄道施設を狙った、アメリカ軍の攻撃。この日一日で青函連絡船は青森と函館で、ほとんど壊滅という被害を受けました。もう一つは昭和 29 年 9 月 26 日の洞爺丸沈没事故です。折から接近中の台風 15 号、つかの間の晴れ間に判断を誤って出航した洞爺丸が函館港外で沈没し、1155 名の死者・行方不明者を出しました。青函トンネルは、この事故が契機となり建設が促進されたのです。

また、もう忘れ去られようとしています。国鉄青函連絡船の就航前の明治 36 年、夜間青森から函館に向けて出港した貨客船東海丸が、海峡から函館に差し掛かった時外国貨物船と衝突しました。このとき東海丸久田船長は船と運命を共にして、多くの乗員乗客の命を救ったという遭難事故は教科書にも載ったそうです。

その後、船体の改良など安全性を増し多くの乗客を運び続けた青函連絡船も、青函トンネルにその道を譲り、昭和 63 年 3 月 13 日、函館発羊蹄丸と青森発八甲田丸でその長い歴史を閉じました。

函館港には、明治以降の北海道開拓、日露戦後の樺太開拓、漁業従事者などを送り出した華やかな記憶ばかりでなく、第 2 次大戦後は樺太やシベリヤからの帰還引揚者の上陸港としての役割も

果たしました。



シベリヤ帰還第一船信洋丸

写真は昭和 22 年 9 月函館に入港した、シベリヤ帰還第一船信洋丸です。

現在函館港を母校とする津軽海峡の青函航路には、2 つの旅客貨物フェリー会社が就航しています。津軽海峡フェリーと青函フェリーです。青函トンネルの開通は国鉄連絡船を廃止にしましたが、貨物の航路は必要性が増しました。そして、開通した新幹線によって津軽海峡が新たな観光のコースとしても見直され、2 社ともに新造船を投入しています。写真は、かつて定期航路にあったころの双胴の高速フェリーです。最初同型 2 隻だったものが、現在は 1 隻がチャーター専用の運用となっています。



双胴の高速フェリー

時代が前後しますが、かつては函館にも国によって運航を命じられた命令航路がありました。外国航路では、函館—ペトロパブロフ・カムチャツキー、それと直行航路ではありませんがウラジオストックと結ぶ航路。内国航路では、青森、小樽、根室、稚内、釧路、幌泉、瀬棚への航路です。現在では命令航路はなくなっています。

私的な素人っぽいことを少し。平成 11 年、機会があり函館寄港中の海王丸の内部を見学させていただくことができました。考えると当たり前ですが、帆船の舵を動かす舵輪は舵に近い船尾にあることに目から鱗がおちました。

翌日見たみごとな総帆展帆では、小型船が側面から船体が動かないように必死に押していたことが印象に残りました。



平成 11 年 海王丸一般公開

5. 函館港のこれから

北海道そして外国への玄関港、内国貿易港、外国貿易港、交通結節港、漁船基地港としての重みは、国内の人口減少や経済の不振、交通事情の変化などにより低下してしまい、函館港の繁栄はかつてのものとなってしまいました。

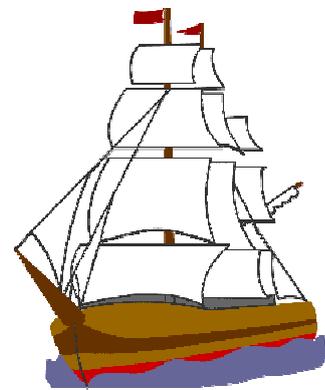


入港中の大型クルーズ船

最近の東南アジアを中心とした観光クルーズ船ブームで、函館港にも超大型クルーズ船が頻繁に入港するようになりました。

そんなことで、函館港の大型クルーズ船用インフラ整備予算が付き、青函連絡船メモリアルシップ摩周丸のそばに 12 万トン級の接岸岸壁が整備される運びとなりました。国際観光港としての活躍が期待されます。

これからの函館港は、海単独ではなく陸・空と連携して地域経済、特に観光面で役割を果たさなくてはなりません。いままで長い歴史の中で多くの物語を作ってきたように、これからも時代とともに発展を遂げていくでしょう。



おわり

神戸支部「第29回といちクラブ」ゴルフコンペ

神戸支部長 福地 赳雄

第29回 といちクラブコンペが11月13日(月)小野グランドゴルフ場にて開催されました。
5組20名の予定が1人連絡もなくドタキャンがあったものの、全員怪我もなく最後まで好天に恵まれ、
絶好のゴルフ日和でした。

来年も同じ頃に開催予定です。関西在住を問わずゴルフに関心のある方の参加をお待ちしております。
尚、全船協神戸支部もお手伝いしております。(問い合わせは078-261-0585 福地 又は 森 迄)
今回の成績を下記します。

日時：2017年11月13日(月) 09:03 OUT/IN同時スタート

場所：小野グランドカントリークラブ オールドコース

協議方法：ダブルペリアによる18ホールストロークプレイ

順位	氏名	出身校	OUT	IN	GROSS	H'CAP	NET	特別賞
優勝	小池 信雄	弓削	43	51	94	21.6	72.4	
準優勝	伏見 國豊	弓削	48	44	92	18.0	74	
3位	古田 稔	弓削	55	49	104	30.0	74	
4位	阿波 恒生	広島	45	41	86	10.8	75.2	
5位	河野 理博	弓削	49	55	104	28.8	75.2	NP x 1
6位	山本 雅也	弓削	44	41	85	9.6	75.4	
7位	福地 赳雄	富山	42	43	85	9.6	75.4	NP x2
8位	山本 晴夫	広島	46	51	97	21.6	75.4	
9位	辻 武志	富山	55	44	99	21.6	77.4	NP x2
10位	上手 義治	大島	56	53	109	31.2	77.8	
11位	田中 克彦	大島	59	49	108	30.0	78	NP x 1
12位	杉山 重三	弓削	43	41	84	4.8	79.2	BG賞
13位	澤田 憲治	富山	42	45	87	7.2	79.8	NP x 1
14位	入江 久壽弥太	大島	47	46	93	13.2	79.8	
15位	森田 任紀	弓削	48	44	92	12.0	80	NP x 1
16位	松岡 静男	弓削	60	48	108	27.6	80.4	
17位	浦田 満	富山	64	54	118	37.2	80.8	
BB	引田 弘明	大島	53	53	106	24.0	82.0	水平賞
19位	藤津 匡章	大島	47	48	95	12.0	83.0	NP X1

全船協でこれからできることを考える

理事 松見 準

全船協本部が小さな事務所へ移転したことを、全日本船舶職員協会が、今後どのように生き残っていくのかを考える機会にしたいと思います。実行できること、困難になったことが、明確になったと言える状況ともいえます。

以前、開催していたVHF委員会のように多くの船社の担当者に集まってもらうことは、困難となりました。業界との接点をもつ能力が乏しくなることは、団体として絶対的に致命的なことでもありますので、今後、全船協が「実行できること」の中から、団体の存在感を最大限に強化していく必要に迫られていると考えます。

業界における存在感を強めていくためには何が必要か。何をいかにするか。

- ①（現状）事務局が、新たな船社の担当者と対面で話し、協会との接点を増やしていくことや、港に出向いて実際に船舶職員と接することは得意ではない実状がある。
- ②（解決の方向）海事関係者の方から全船協に関心を持ってもらう手段もある。
- ③（方策）公益団体として連日情報を収集し発信もする。業界内の情報を多く持つ団体を目指す。

—具体的な行動—

- ・電話やネットを使った情報の収集
- ・国交省には傍聴可能な海事関係の会議が沢山ある。（船舶職員目線で記事をまとめる）
- ・学校関係者が考えていることを収集（これは公開は前提としない）
- ・現場から聞こえてきた情報を収集（これは公開は前提としない）

- ④（将来性）情報が潤沢にあれば、陸上社会とも繋がって公益的な海事PRにまで発展することができる。

生き残りには、全船協としての個性も必要

情報を集めることができ、船舶職員目線での解釈ができて、全船協の発信でなければならないと感じてもらうことは難しい。全船協自身がどのような歴史を持ち、どんな使命のもとで維持されてきたのかを省みることも重要と考える。

先輩達が残してくれた、昭和56年発行「全船協五十年史」という分厚い書物を開きますと、当時の和田会長が座談会の席でこのように話しています。

<全船協50年史 p.541 座談会 和田春生 会長>

…既存の組織や体系、機構の中に包含（ほうがん）されない分野に放り出されている者が非常にたくさんおる。目につかないそういう分野というのは、労働組合でもない、もちろん船主でもありませんが、船舶職員の社団として、しかも、各学校とか免状取得の系列とか経過、そういうものを乗り越えての組織というのは、全日本船舶職員協会しか日本にはいまないんですね。たった一つの存在なんです。

私は、それを非常に大事にしながらそれにこたえていくためにどうしていくかということが、十一会以来の伝統を踏まえつつ新しい全船協の任務として一番大事なことではないか。——

日本人船員の職域が外航海運から内航海運へと大きく変化している現在、内航の船舶職員の大半が、まだ「全日本船舶職員協会」とかかわられていません。労組でも船主でもなく、あらゆるものを乗り越えて日本人船員とかかわれる組織は、今でも全船協、たった一つなのです。

また、全船協の情熱的で独特な個性に期待する当時の全日本海員組合の土井組合長からの寄稿もありました。

<全船協 50 年史 全日本海員組合 土井一清
組合長>

…旧地方商船学校は、その生い立ちから当時の官立商船学校とは趣を異にし、旧幕府時代の帆船等の乗組船員の出身地を基盤に、私立あるいは県立で創設された。従って、元来わが国海洋民族の土壌と血脈を受け継いだ根っからの船員養成機関であった。しかし、この商船学校は時代の変遷と共に、度重なる統廃校問題など浮沈の波にさらされた。それらの難局を克服し、今日、文部省所管商船高等専門学校として輝かしい地位を確保し得たのは、地方商船学校卒業の同窓会、旧十一会の功績である。わが国経済、文化は勿論、近代国家建設の基幹である海運、水産の発展に尽くした十一会会員の業績は偉大であり、その伝統を汲む全日本船舶職員協会に期待されるものは大きい。

現在、全船協には全国の各商船高専を出身とする理事がおられます。学校によって、その歴史はそれぞれ異なるのですが、各地の商船高専の官立学校以前にまでさかのぼり、その誕生を掘り起こすことは、その商船学校、卒業生の存在価値や誇りに繋がるだけでなく、その地域の発展にもかかわる資産となります。期限を切るような活動でもありません。地域と寄り添い、このような事業を実現できる団体も「全船協」だけであると考え、提言いたします。

(了)

やぶにらみ南半球世界一周クルーズ（後編）

元日本郵船 機関長 吉野克男

○ 南アフリカ、ケープタウン着 1月23日 ～ 24日発

人種差別闘争で有名なネルソン・マンデラは、あちこちの刑務所を合計27年という長きにわたり収監され、ここ、ロベン島では、政治犯として最も長い18年間（1964年から1981年）収監された所である。

私自身の船乗り時代に三国間輸送でペルシャの石油をトルコの小さい港にピストン輸送する船に配乗させられたことがある。

1971年は、Nelson Mandela が、ロベンの監獄に収監されていた時である1971年には、スエズ運河が封鎖され、食料や必要な書類、乗組員自身の手紙などの受渡し場所としてケープ・タウンが可能かどの調査を会社から依頼されたが、ケープ・タウンの沖合は波が高く小船では危険であり、本船も速度を落として航行しなければならない。

この時はじめて南アフリカの黒人を見た。船では世界中の黒人を見てきたが、なんともなく暗い感じであった記憶をもったものであった。黒人の陽気さがない。

結局のところ物資補給作業は、ケープ・タウンはヘリコプターによる空中補給になり、甲板上に目印として丸にHの文字で荷物受取区域を船首側に描き、そこで荷物の受け渡しを行った。そのため本船は減速することなしで、航行中に作業を行うことになった。

1月23日 ケープ・タウンに入港する日の朝早くから船内がざわめいていた。

日の出の時間は06:00頃のはずと思っていたが、船は、ケープ・ポイントを通過しケープ・タウンの市街の光が見える。実に美しい光景だ。テーブル・マウンテンが朝日を背にして黒く高い姿をみせている。マースク・ラインのコンテナが整然と積み重ねてあるコンテナ・ヤードの岸壁への接岸であった。もともとケープ・タウンの町はオランダが、最初に東インド会社のインドに向かう船の補給基地に選び、ケープ・タウンは発展してきた。

テーブル・マウンテンは、高さ1000mともいわれよく朝靄が発生し、その靄がコンテナ・ヤード側に流れる落ちることもあるようだ。

ケープ・タウンで1月23日の観光ツアー「刑務所の島」ロベン島めぐりに参加する。「負の遺産」とユネスコの世界遺産に指定されているところである。ロベン島まではフェリーで小一時間かかる。

島全体はかなり広い。高い塀で囲まれるこの刑務所では政治犯の数が多いために雰囲気がかかる。マンデラさんの収容されていた部屋にも腰掛があり、コップが1個あり、コンクリート製の床の上に薄いマットが広がっている。

しかし日差しは窓から差込んでいるだけ。シ

ャワー室は別棟に設けてあり、全体的には明るい感じだ。

ガイドさん自身もかつて収監されていた人で説明が詳細で熱が籠っている。収監されていたころ、石材をハンマーで止めどもなく細かくする作業をさせられたこともあった様子。

1月24日の観光は、ケープ・ポイント（喜望峰展望台）、まずは私が立ち寄りたと思っていたポイントの一つである。何しろインド洋と大西洋を一目で見渡せるところである、けれどもこの地点はアフリカ大陸の南端ではない。強風に耐えてポイントの頂上まで上ると息が切れる。ベルリン、パリー、ニューヨークの方向を示す指標によりかかるようにしてVサイン。

それからバスでペンギン・コロニーを見物したり、ボートでアザラシ島を見物した。

ペンギン・コロニーのペンギンは、マゼラン・ペンギンであるので小型で60から80センチの高さで、背中が黒で腹は白色、白いマフラを着ているような線があるので姿は可愛い。

○ナミビア共和国、ウォルビスベイ寄港

1月27日

モザンビークでの失態があることから、脚が弱く思われたのかピース・ボートの人から、ナミビアの砂漠の観光は、キャンセルした方がいいのではないかと打診された。仕方がないが、奇想天外といわれる植物 Welwitschia（ウエルウィツチア）裸子植物 を見ることを諦めた。

オーストリア生まれのポルトガル植物学者ウルウィツチアが命名したそうである。

この植物は、砂漠の中で高さ60cmと低い、葉は四方八方に砂の上に広がっている。降雨が殆どゼロに近い砂漠で、降っても年間100mm位といわれている。

ウォルビスベイを出港しアフリカ大陸を後にして南アメリカ大陸のリオ・デ・ジャネイロへは、南大西洋上での西一路、約10日間のクルーズ一路となる。

○大西洋（表面積：81,663,000 km² 最深部：3,896m）

なぜ南アメリカ大陸のブラジルだけが、ポルトガル語を話す様ようになったのか？

簡単に言えば、スペインとポルトガルの間で東洋における金銀ならび高価な香辛料の争奪戦に鎬を削っている時、スペイン側はコロンブス（ベネチアの人）船隊が1492年西インドに到達し、ポルトガル側は、ポルトガル王の後ろ盾のデアス船隊が、希望岬と名前を変えさせられ嵐の岬を1488年に到達した、アフリカからインドまでの海路はバスコ・ダ・ガマが成し遂げてインドのカリカット1498年に到達した。このことで西洋と東洋とが海を介して繋がる。

ここで両者の意向を受けた教皇仲裁であるトリデシリヤス条約を1494年7月2日にスペイン側が批准、9月5日にポルトガル側も批准したけれどもベルデ岬の位置や使用された距離の単位リーグの長さも正確ではなかった。

「ケープ岬の西、370リーグであった」（1529年4月の「サラゴサ条約」ではインド以東の海上に線引きがなされこととなる）ブラジルの発見は、ポルトガルの3度目の探検でカブラルがたま

たま 1500 年にたどりついたもので南アメリカ大陸の突き出た所が、トリデシリヤス条約で決めた線の東側であるため、ポルトガルの領域になっている。

○ブラジルと私のリオ

私は、1977 年から 1979 年まで、縁があってブラジルの北部のカンポス沖で石油の掘削をすることになり、4 週間ごとに石油掘削船での仕事を行い、その後の 4 週間は休暇という仕事をこなしていた。なぜ 4 週間となったかと言えば、石油を掘る仕事を担当する技術者は、ほとんどの人が、テキサスから来たアメリカ人達で自分の家に少しでも長くいたいらしい。

私は、地球の反対側にある日本まで帰るわけにはいかないの下宿先を探して下宿するより仕方がなかった。食事は下宿先の女中が、朝飯を用意してくれるが、問題は昼と夜の食事である。

昼めしは「うどん」の代わりにイタリアの「スパゲッチ」などを利用し、または軽食のマックなどで過ごし、夕食は、当時、リオにも数は少ないけれども日本食を提供する「赤坂」「東京」ならびに「舞子」があったので通っていた。ある日突然、「本日、日本からのお客さんで貸し切り」と言われて困ったことがある。その日は、サン・パウロで開催された「日系移民 70 周年祭」に参加した日本から来た、客人達であった。時は 1978 年 6 月 18 日のことである。

○ブラジルと日本移民

ブラジル移民 110 周年記念 1908 年 6 月 21 日第 1 回移民船加佐登丸がサントス入港。

日本が日本海海戦でロシアの連合艦隊を撃破してから 3 年目の 1908 年 4 月 28 日に神戸の港から 781 名の第一回契約移民が東洋汽船「笠戸丸 (6,167 トン)」にてブラジルを目指して出港し、50 日余の航海を経て 6 月 18 日にブラジルのサントス港に接岸した。この日を移民の人たちは「日本人移民の日」としている。当時はいまだパナマ運河の工事は完了をしていなくて、アメリカ大陸の南端を通過してブラジル東岸に向かった。

著者注：(来年 2018 年は、移民の 110 周年に当たる)。

○リオ・デ・ジャネイロ 2 月 6・8・9 日 停泊

ブラジルの現状

2 月 6 日 RIO (A) ポン・ジ・アスカル・リオ・デ・ジャネイロ観光、むかし 39 年前に見たポン・ジ・アスカル(一般的に砂糖山呼んでいた)。リオ・デ・ジャネイロ観光に参加した理由は、かつて仕事でリオにて下宿したところの窓下はコパカバーナ海岸に面しており国内航空のサントス飛行場から飛び立った飛行機が砂糖山の近くで左に旋回して北の方に飛んでゆく。

リグの仕事(石油掘削)をしている時に毎回、軽飛行機は砂糖山の近くでバンクしてカンポスに向かってゆく。毎日のように眺めていた砂糖山には何時でもいけると思っていた、結局、砂糖山にケーブルで登ることが、出来なかくので今回こそは、と意気込んでツアーに参加し。

ケーブルで山の頂上に着いた時には風が強くサントス空港の滑走路が、眼下に見えた時に

は懐かしく眼が潤う。それからメトロポリターナ（大聖堂）などを巡るが、市内は世界中から来た人々で、交通規制がなされて、コパカバーナビーチ、イパネマビーチは、人・人の波。バスから降りての見物はほとんど不可能の状態。昔、お世話になったホテル・グロリアならびに下宿のあるアトランタ・アベニューも規制されており、「スパゲッチ」屋さんの前を通ったのが唯一の確認であった。

2月7日 RIO (E)

ブラジル式肉料理のご昼食とリオ・デ・ジャネイロ観光 車窓観光 ブラジル式焼肉料理シユラスコ) は、ブラジルでは欠かすことが出来ない。

牛肉の塊を串刺で焼き上げたもので、それを目の前で小分けにして客に提供する料理で種々の肉が焼き上げられる。一方、フェジョアータという煮込み料理は、庶民的な料理でよく食べたものである。今回のシユラスコ料理店 (Barra Grill) は、イパネバのはずれにある店でリオの繁華街からを離れており静かであった。

リオの観光バスは、昨日に増して人びとが気楽な服装で中心街や浜辺に集まり大変な人出になっており、バスの窓からは、サンバ・パレードの準備をしている山車や衣装をきた踊り子を写真に撮るのが精一杯の状態であった。

○2月8日-9日 RIO (L) サンバ特別チームのパレード鑑賞

リオの特別サンバ・パレードの開始は太陽が落ちて風が涼しくなる 21:00 頃から夜を徹して次の日の早朝の 04:00 頃まで、選抜 6 チームで行われ

る。39 年前に応援していた「ポルテラ」もチャンピオン・パレードにも元気に参加している。しかし、1984 年にリオのパレードが「サンボドロモ」に変更になった時に優勝して以来優勝がなく 2011 年にはカーニバルの直前に 3000 着の衣装が燃えるという災難にあっている。

2016 年の今年こそは、カーニバルでの優勝を意気込んでいたが、僅差で「マンゲイラ」チームに負けている。優勝チーム「マンゲイラ」269.8 ポイント、「ポルテラ」269.7 ポイントだった。

○カーニバルの今昔

2016 年のカーニバル・パレードはリオ一番広い道路 (プレジデント・バルガス) ではなく新しく 1987 年に建設された専用の「サンボドローム」で開催。指定席も頑丈なセメントづくりで、昔のようにパイプ結合で作られたものでは、パレードのチームが目前に来た時、一斉に見物客がサンバを踊りだすと、ゆさゆさと揺れたものだ。

チームが過ぎ去った後の掃除も手作業ではなく自動化された機械が行う。40 年近い年月がたっていることをしみじみと感ずる。チームの山車も大型で豪華絢爛となり、しかも 2 次元ではなく 3 次元での装備に驚く、水圧で空中に飛び出す、パフォーマンスまである始末。色合いも黄金色が多く綺羅付く。何となく昔の素朴ながら心から楽しんでいる有様が見えない。

私たちの席は対面に、審判員が入っている部屋があるので中が丸見えで 5、6 人の審査員が忙しく座って記録をとったり、椅子から立ち上がって拍手をしたりしている。昔のパレードを観

覧した時のことを書いた私の感想文が見つかりそれによると『カーニバルの熱気もやや静まったころ、日本に向けて帰ることになった。サッカーゲームのある土曜日や日曜日でもないのに、人々はラジオを囲んで一喜一憂している。リオの前田駐在さんの話では、先日行われたサンバ・パレードの採点発表がなされている様子である。採点は、九項目にわたって行われる。すなわち、装置、調和、主題、旗手、進行、仮装、筋の運び、先導者、物語の表現などである。ブラジル人は興奮しながら発表を聞きいつている。

これでブラジルともお別れだ。南（著者注：この年の審査員には、米国の俳優コジャックも参加していた。）

○モンテビデオ・ウルグアイ東方共和国

2月13日 寄港

モンテビデオといえば、40年ほど前にブラジルで仕事をしている頃、休暇の4週間をバリローチェで過ごし、その帰途にリオの駐在さんが、モンテビデオという南米では少し異なった国があるから訪ねてみたらといわれて、残りのお金も少なくなっていたが、訪ねた国である。モンテビデオに関する知識もなく第二次大戦の折、ドイツの巡洋艦シュペーが、中立国のモンテビデオ寄港し、その艦は1939年12月13日プラタ沖で壮絶な自沈をした事件くらいしか持ちあわせていなかった。

実際には、リオの雰囲気と似ているけれどもモンテビデオは、アメリカの福祉国家でもあり、人々にも余裕があるようだ。マテ茶の消費が一番多い国で、マテ茶の容器は、手からは

なさない国民らしい。

モンテビデオでは「B」歩行すくなめ アルゼンチンは、私にとっては、思い出の多い街である。石油掘削の仕事をしていた時に南米のスイスと呼ばれた保養地「バリローチェ」に行ったとき、ブエノス・アイレスを中継地として二晩宿泊。

1978年11月15日と11月23日で、そのホテルは「リバティエー」だった。手元の旅行案内書にもホテルの名前がない、こじんまりとしたホテルで市の中心部に近いところだったのにと思いつつ自由散策を終えた。帰りのバスの集合場所がなんとリバティエー・ホテルのフロント前だった。

○ウシュアエア・アルゼンチン

2月19日 09:00 入港 2月20日 12:00 出港

素晴らしい朝日が山の上に、空気は重く冷たく朝を包む。今日は着込んで上陸。

2月19日 ウシュアエア ツアー・ ビーグル水道と博物館

ビーグル水道をクルージング、元監獄の船舶博物館、世界の果て博物館

2月20日 12:00 ウシュアエア 出港

2月21日 05:30 最狭部通過・雨が曇りに・風は不規則

○パタゴニアの氷河群

南アメリカ大陸での氷河は、船の進行方向の右手の山々の頂上に氷河が見えてくる。

オランダ氷河・イタリア氷河・フランス氷河・ドイツ氷河・ロランチェ氷河・ピオ XI 氷

河（この氷河だけは、海までつながり幅4 kmで氷河が海面でくずれ落ちる所を見られた）

2月22日 17:30頃 太平洋側に 大気温度10℃ 海水温度 10℃

太平洋への出口波高し、雲多し。



パタゴニアの氷河群

○太平洋の規模

広さ（表面積） 1億 1,300,000 km²

深さ平均： 4,280m

最大深度： 11,034m

○HUMBOLDT寒流とクジラ群

ピース・ボートでは、船客にブリッジ見学する機会を提供している。希望者は事前に申し込みをして15名程度のグループになって Bridge Tour を行う。2月15日に予定されていたが船の都合で2月24日の10:00に変更された。

ブリッジに入って最初に気が付いたのは、計器類が少なく広く感じた。舵輪が極端に小さくまるで小型ボートのものに似ている。それに加えて神棚も見当たらない。案内をしてくれた方に尋ねると本船には神棚はない。との返事であ

る。

3世代も過ぎるとまるで浦島太郎になったような気持ちである。ITFのインスペクターの仕事をしていた期間では数多くの外国船を検査したけれども、聖母マリアの像などを見かけたものである。

よく見ると本船の針路や航跡はファックスのに船の位置が刻々と表示されて描かれている。以前の紙のチャートに鉛筆で記入することがないらしい。GPSの時代になっていることがわかる。突然、クジラが泳いでいますよ、とブリッジの人が教えてくれて、双眼鏡をわたされる。クジラもフンボルト海流に乗っているのかも知れない。太平洋である。船内に戻りほかの人にクジラを見たよというと、どうして船内放送しないのかなと言われた。

○バルパライソ・チリ 2月26日 寄港

バルパライソは首都サンティアゴの外港であるので足をのばして、首都サンティアゴ観光のツアーをとる。1.5~2.0時間のドライブである、ワインの生産が有名で、ブドウ畑があり延々と広がる。日本の田舎を思い出させる光景でもあり人々の姿、樹木にも静けさを感じずる。

外気の気温が激しく変化をする。12℃~30℃~22℃と激しい、国旗を掲揚している家が多い。サンティアゴ市内では、アルマス広場、サンティアゴ大聖堂、モネダ宮殿（現大統領府）、中央市場、民芸品市場など約1.5~2時間の名所めぐり、昼食はシーフード。

約2時間のドライブでバルパライソの港に帰ってくる。立派なコンテナ・ヤードがあり、海

岸通りには椰子木がならんでいる。モンテビデオの街の雰囲気を出した。

バルパライソを出港するとイースター島までの太平洋上のクルージング、船内テレビは1チャンネルでは、「My Fair Lady」が放映される。

私はデッキで日光浴。

3月2日では、船内のクラシック音楽のDVDによる鑑賞会が開かれる。

○イースター島・チリ 3月3日着～3月5日発

3月3日 風雨激しく、錨泊地変更か？ 船内がさわがしい。結局、もとの場所に。

3月4日 イースター島観光、英語ガイドツアーに参加、まず、第一に「ラパヌイ国立公園」の入場料が高いのが気になった、8,000円である。それにこの火山島では、大きな木々がなく、坂の多いところである。それに事前の案内では世界遺産であり、キツイ徒歩であることが述べられていた。

ガイドさんの説明を聞きもらさないようにと急いでいるうちに高山病のような症状が出てきた。

山登りの経験がある人が肩をかしてくれた。平地のところでは15体の「モアイ」が立っているアフ・トンガリキに着いて一安心と思った。

イースター島では、船は接舷出来ず沖泊まりであった。それでモーター・ボートが頻繁に行き来しなければならない。上陸地点まで坂道になっているのに足が前に出ず、もの見事にヘッドスライディングで鼻血を出す羽目になった。

たまたま、船のドクターが、上陸地点で見ており「意識はあるか？」と聞かれ「はい」と答えると、じゃ、大丈夫だ！との返事。

3月5日 Rapa Nui 船内でのモアイ像の制作実習及びモアイ像などの模型像制作のために材料の岩石は購入したが、いまだ手つかずにしまいでいる。

出港 20:00



本船とモアイ像

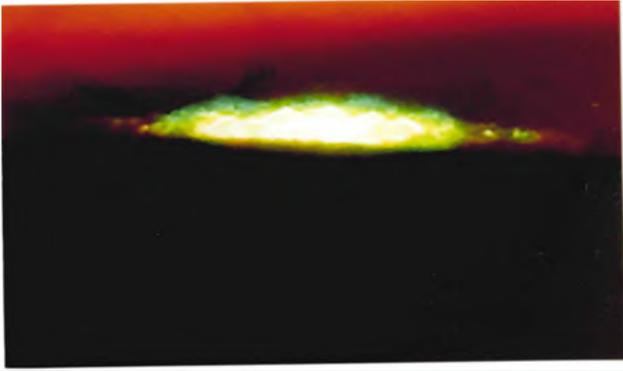
○ Green Flash 日没の 20:44

海洋上で素晴らしいグリーン・フラッシュ現象がみられた。わずかに1秒のショーである。日の出または日没の時間になると船の甲板にカメラを持った人々が集まって来る。

「グリーン・フラッシュ」の現象を撮影するためである。私が船乗りであった34年間に、一度もこの現象に遭遇したことがなかった。

長年ピース・ボートで航海している人でもあまり見たことがないそうだ。誰かが「グリーン・フラッシュだ！！」いった時、すでに終わりである。

今回はプロのカメラマン河田雅史氏が、望遠カメラで撮影された写真にその瞬間が映されて



「グリーン・フラッシュ」の現象を撮影に成功

いる。河田さんの話では、連射で撮った部分には映っていないようである。波長の短い「青色や緑色」は空気が清浄であり条件がそろわなければ、なかなか捕まえるのが困難である。まさに宇宙の気まぐれの一秒。

○タヒチのパペーテ首都・フランス領

3月12日着 06:00 ～3月12日発 20:00

フランス領ポリネシアは118の島々

- * パペーテは、ポリネシアの首都
- * 客船の船名が「ポール・ゴーギャン」も近くの岸壁に接岸している

3月12日 タヒチ島観光 パペーテ に参加
観光バスではメイン・アイランドと呼ばれているパペーテ市内のタヒチ博物館、ビーナス岬、アラホホの潮吹き穴、マラエ（ポリネシア伝統祭壇）、期待していたゴーガン博物館は現在改装中とかで休館。

ガイドさんの説明では、ここには真筆はなく海外に有るとのことで残念。しかしながら、この地でガイドをしている日本人は実によく当地のことを研究しておられるので感心した。いかなる質問でも的確に説明されており、気持ちがいい。ゴーガンが最初に住んだパペーテ市からだ

んだんとタヒチ・イテイ火山（1368m）の方に移住していたらしい。

3月13日 *ボラボラ島でのヘリによる空中散策 ボラボラ島「H-1」に参加

4人乗りのヘリコプターでの小1時間の空中散歩であるが、ラグーンのカラーの色合いに目が染みる。特に同乗の女性たち3名は、オープンハートの無人島ラグーンに歓声を上げてシャッターを押している。サンゴ礁の周りの海水の色は、サンゴ自体の色、太陽の光線の具合海水の温度、海水の塩分ならびにサンゴ礁の形で海の色が変化している。それにサンゴ礁の東側と西側でも微妙な色のグラジュエーションがある。



パイロットとツーショット

○日付変更線通過 3月18日

本船は3月18日に日付変更線を通過したが、まだ180度線に達していない、西経170線付近である。これは、キリバスの設定した日付変更線を通過したためである。明日は3月20日。

1995年にキリバス国が独立した時に国が二分され時間が2分割されて不便なために決められた日付変更線である。余談であるが太平洋戦争中の

日本軍とアメリカ軍が激戦したタワラ島は東経 180 度の赤道直下の付近である。これが日本軍による侵攻した最前線であり、ハワイへの空襲を除けば日本軍が行ったアメリカ本土に最も近い激戦地でもあった。

日付変更線の必要性は、マゼラン船隊の最後の一隻「ビクトリア」がスペインに帰ってきた 1522 年にピガテフェッタなどが記録した日記などによる日付は、一日少ないことが問題になりました。

○マジュロ島・マーシャル諸島 3月22日寄港

* 太平洋の環礁での原爆実験

* 現在のマジュロ環礁は以前、日本の統治にあったものが、第2次大戦後はアメリカの統治になりビキニ環礁などが原爆の試験場になった。

マジュロでは「歩行少なめ マジュロ観光」に参加。マジュロ環礁は約 50 の島々が環状に点在し、北側は小島がならび、南側は着岸点のダウンタウンエリア地区では、環境保護局により遊泳禁止と指定されている。ダウンタウンのある南側は先端からローラ地区まで島約米国が 10 島は道幅も広い。マジュロ国際空港があり、日本政府による「東太平洋戦没者記念碑」静かに立っている。その先には通称ツーリストトンネル道が両側にびっしりココヤシ生えている。ここでの林に民家が点在するのどかな光景があり、その先はローラビーチ、あたりの海は澄んでいた。

マーシャルの伝統カヌーは、逆三角の帆で、片側にフロートがあり、それは風上になっているスマートな船で、島々を軽快に走り回っていたと初めて見たヨーロッパ人が驚いていたものである。

これからは、日本に向けて最後のクルージングが始まる。

○横浜 3月30日 07:00 入港

東京湾入口に近くなると船が北から南から集まってくる。しばらく進むと灯台の白さが見えるようになると、各船は航行規制に準拠して海上交通センターの指示で航路に入るが、朝日を受けた灯台の白さが映える。昭和四十六年三月、観音崎公園内に「戦没船員の碑」が建立され、毎年追悼式が行われてきた、昭和五十六年からは殉職船員の慰霊顕彰と遺族の援助を目的として「日本殉職顕彰会」が設立されました。2017年現在 戦没船員（60,643名）・殉職船員（2,969名）の追悼式が、毎年5月上旬に行われている。

安らかにねむれ わが友よ

波静かなれ とこしえに

白い建物も朝靄から現れてくる。大棧橋への着岸は、予定通り、07時:00分、3月30日2016年の105日間の南半球クルージングは無事完了。

栗林商船株式会社の前身である室蘭運輸合名会社（創業者・栗林五朔）は1894年（明治27年）7月、日本の近代化への夜明けと共に設立されました。

さて栗林グループ各社の社章であり、ファンネル・マークとなっている「丸七」（マルシチ）の由来は更に遠く、南北朝時代にまで遡ります。肥後（熊本）の豪族菊池武光の末裔であった栗林家は、南朝に味方しましたが、戦いに敗れて越後（新潟）三条に逃れました。越後で栗林家は武士を捨て呉服商人となり、以後代々「七郎治」を名乗りました。四代目からは苗字帯刀を許された、格式ある家柄でありました。

八代目であった創業者五朔翁は、新天地を求めて北海道・室蘭に渡り、新たに海運代理店業や倉庫業ほか事業を興すにあたり、由緒ある「七郎治」の名前から「七」をとり、屋号を「丸七」としました。



神明丸



シャーシと丸七

明治45年5月に着工された王子製紙苫小牧工場は、第一期北海道拓殖計画の将来展望のひとつとして、3年の歳月を費やして操業開始に至りました。しかしそれ以前の明治41年には、鉄道の国有化・青函連絡船の就航に伴い、貨客は青函航路の方に乗り移っていました。

代理店業の客先であった海運会社は製鉄業の輸送に注力し、北海道に新航路開設の意思がなく、自ら輸送契約を引き受けたことが海運業の始まりであります。

大正8年、その後室蘭運輸合名から社名変更された栗林合名会社が更に分割され、栗林商会と、船舶部門である栗林商船になりました。



昭和初期 当社発祥の地 室蘭港

現在でも北海道に工場があります王子製紙殿、日本製紙殿、日本製鋼所殿は当社グループの主要荷主でもあります。また当社の主要航路は北海道の釧路、苫小牧と仙台、そして大消費地である東京、名古屋、大阪を結ぶ定期航路でありまして、荷主殿から分刻みの定時運航を強く望まれます。

1969年（昭和44年）6月、それまでの在来貨物船による輸送に替えて、全天候型荷役、すなわち工場から直接船の艙内にロール・ペーパーを運び込み、そこで雨に濡れず積み降ろし可能な「神珠丸」が、我国初のRoRo船（ロールオン・ロー

ルオフ船)として建造されました。しかしながら、濡損厳禁である紙製品、なかでもロール・ペーパーを雪降る北海道から、シャーシ(トラックの荷台だけ切り離れたようなもの)と共に輸送することは、相当の配慮を要し、乗組員も苦勞するところです。



RoRo 船 船内 ロール・ペーパーとシャーシ (ヘッド 運転台付)

戦後、当社は RoRo 船による輸送を荷主殿にご提案した以外にも、独自の技術開発を続けて参りました。勿論、全ての開発が成功に終わった訳ではありませんが、一部をご紹介しますと、K7 一本デリック、K7 フラップ・ラダー、セントラルクレーニング・ウォーターシステム、主機関および発電機関のモノフューエル化等です。現在も新たな舵(ゲート・ラダー)の開発に取り組んでおります。

昨今、海運界では二つの高齢化問題(船と船員の高齢化)が危惧されています。しかし、当社にそれは当てはまりません。何故なら東京オリンピックが開催される 2020 年までに、傭船を含む 4 隻の大型 RoRo 船の代替新造計画が決まっているからであります。

また栗林商船(株)の船員及び船舶管理会社であります栗林マリタイム(株)乗組員の現在の平均年齢は 37 歳だからです。



日本最大級の内航 RoRo 船「神加丸」



「神加丸」の船内

また現在当社は、内閣官房のサイトにある通り、国民保護法指定公共機関としての社会的責任と役割も問われる立場にあります。3・11 では無償で仙台港に寄港、熊本大震災の後の自衛隊の車両を大分から本州へ輸送したことも記憶に新しいところです。

しかし取り組むべき課題が無い訳ではありません。スマホ等の普及により、新聞の購読者も減り、主要貨物である紙製品の輸送が漸減しており、これをモーダルシフト化等の時流に乗った雑貨で補わなくてはなりません。

皆さんの中には上級海技免状取得に向けて励んでいる方もおられると思いますが、それはそれで当社も歓迎するところでもあります。しかし最後

にダーウインの「種の起源」から一言。

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」

(船員採用関係 問い合わせ先

栗林マリタイム株式会社

☎ 03-5203-7974

海務監督 真治正章)



海事ニュース

◇国交省海事局/内航船管理会社の活用。 登録制度案を協議

国土交通省海事局は10月31日、同省内で「船舶管理会社の活用に関する新たな制度検討会」の初会合を開いた。委員を務める学識経験者や内航海運事業者、船舶管理会社などの関係者が出席。6月に公表した「内航未来創造プラン」にも明記し、2018年度からの運用を目指す船舶管理事業者の登録制度案に関して協議を開始した。制度運用に向け、今年度中に検討会の取りまとめをする。

検討会の冒頭、海事局の塩野進企画調整官が会合途中からの出席となった飯塚秋成内航課長のあいさつ文を代読。「15年前の02年に産業政策『次世代内航ビジョン』を策定したが、15年間で内航海運を取り巻く日本経済・社会の環境は大きく変化した。日本経済の持続的な一定の成長を前提にした内航海運は潮目を迎えている」と指摘した。

さらに内航は輸送量、船腹量、事業者数が減少傾向にある点を踏まえ、「とりわけ船主(オーナー)は15年間で一杯船主の大幅な減少を背景に、42%減っている。これは内航海運業の事業運営の在り方に影響する。事業基盤強化は喫緊の課題」などと強調した。

その上で、「『内航未来創造プラン』では船舶管理会社の活用を挙げている。個々の事業者では対応が難しくなっている『船員の雇用・確保』『船舶の保守管理』などで管理会社を活用できる。ただ一方で、管理レベルに不安を感じていることもあり、活用は進展していない」と説明。検討会での議論を通じて、活用に向けた制度構築を図りたい考えを示した。

(日本海事新聞 2017年11月2日付け)

◇九州船対協/海洋技術科の高校生に内航海運の出前講座、船員の魅力アピール

九州地区船員対策連絡協議会はこのほど、山口県立大津緑洋高校水産キャンパス(山口県長門市仙崎)で内航海運に関する出前講座を開いた。同校での講座開催は初めて。九州運輸局が講義を通じ、海洋技術科2年生の24人に内航海運と船員の仕事の紹介と就職先としての内航海運業をアピールした。

出前講座では、九州運輸局海事振興部の貨物課と船員労政課の職員が講師となって内航海運の重要性と船員の仕事内容、船内生活、必要となる資格などに関して説明。加えて、内航海運業界から若手船員が求められていることや船員の給料が陸上に比べ高いこと、転居が不要であることなど内航船員の魅力を強調した。

参加した生徒へのアンケートでは「内航船の職業に引かれた、内航船に就きたい」「船員の仕事を知ることができて良かった」など内航海運業への理解と関心が高まったとの感想が数多く寄せられたという。

九州運輸局では「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」を2008年に設置。著しく高齢化が進む内航船員の確保・育成対策として、水産系高校、海上技術学校などでの出前講座を展開している。

17年度は大津緑洋高校のほか、壱岐商業高校(長崎県壱岐市)、口之津海上技術学校(同南島原市)で実施。来年3月末までに鹿児島水産高校(鹿児島県枕崎市、講座は鹿児島市で実施)、唐津海上技術学校(佐賀県唐津市)でも行う。また、中学生向けで石田中学校(壱岐市)、退職自衛官向けで今年8月に佐世保海上自衛隊(長崎県佐世保市、来年2月にも予定)でも実施した。

(日本海事新聞 2017年11月21日付け)

◇国交省/先進船舶導入促進。基本方針を策定

国土交通省は、先進船舶の導入などを促進するための基本方針を策定した。先進船舶は、環境負荷の少ない天然ガスや水素ガスを燃料に利用した「代替燃料船」と、船陸間通信に最新技術を使うなどして運航の安全性・効率性を高めた「IoT(モノのインターネット化)活用船」と規定。2025年までに250隻の導入を目指す。海上運送法改正を受けて創設した新制度に基づき、民間が作成し国の支援対象となる導入計画の申請受け付けも開始した。

日本の海事産業の生産性向上と国際競争力の維持・強化を目的とした、海上運送法・船員法の一部を改正する法律が先の通常国会で成立、1日付で施行された。

これに伴い、船舶・船用機器のICT(情報通信技術)などの先進的な技術を用いた先進船舶の研究開発、製造、導入を促すための計画認定制度を創設。ビジョンと多様な関係者の役割を示す基本方針も策定した。

基本方針では、先進船舶導入などの促進の意義・目標、政府が実施すべき施策の基本的な方針、事業者が講ずべき措置と先進船舶導入などの計画の認定に関する事項について定めている。先進船舶が用いる燃料はLNG(液化天然ガス)、LPG(液化石油ガス)、水素ガスとした。

同計画策定のための調査に取り組む事業者に補助金を支給。対象となる案件は、今月13日まで募集する。国交省では11月中に支援事業を選定し、交付を決める予定だ。

(日本海事新聞 2017年10月5日付け)

海運・造船業界の求人動向

<2017年12月現在>

【全体の動き】

業界全般で、企業の採用ニーズは引き続き高い。特に海技者が求められている。また、営業・事務系職種の求人が年末に向かい増加している。船級、保険、便宜置籍における専門求人も、大きな動きではないが出始めている。

【営業系—船舶運航管理、用船など】

年末を前に、採用活動が活発、積極的になっている。具体的には、船舶運航管理、傭船営業、また船舶営業の管理職候補や、タンカーの船種に特化した営業求人（荷主や船社への営業）も出ている。

外資企業の求人では、英語力を期待する声が強い事が特徴的である。

【海技系—船舶管理、工務・海務監督】

監督業務は、求人依頼が最も多い。次世代育成を見据えた求人が増加し、最低でも2級、出来れば1級以上の海技免状を期待する声が強くなっている。

海務の分野では、船員教育や安全指導の求人が増え、1級海技免状取得者以上が条件となっている。

しかし、採用を検討する企業は、資格や海技免状、船種だけでなく、転職理由、志望動機、仕事に対する意欲や考え方についても、慎重に検討し選考を進めている。

【その他—フラッグ、保険、外資メーカーなど】

P/I 保険、損害保険会社での調査業務、便宜置籍関連での審査・申告・登録業務等の求人、船級教会での専門分野に特化した図面承認、商社や外資系メーカーでの舶用機器のセールスエンジニア等の求人が増加している。これらは、

決して高レベルではなくても、一定レベルの英語力が求められている。

【最新求人動向からみる転職アドバイス】

選考を慎重に進める企業が多く、今後もこの傾向は変わらないでしょう。

応募にあたっては、応募企業や求人内容を十分に理解した上で、ご経歴書類（履歴書、職務経歴書、乗船履歴書）を作成いただく事が重要です。

また、面接においても、志望動機や転職理由や、仕事に対する考え（何故当社なのか、当社で何をしたいのか、〇年後どうなっていたいか等）についても、質問がおよぶことがあります。キャリアの棚卸しをしっかりと行い、自身の強みを理解しましょう。また、キャリアを有する層の方々は、キャリアアンカーについても考えをまとめていただく必要があります。

求人企業が求める人材について十分な情報収集を行い、万全な準備を行いましょう。経歴書類の作成、面接対策につきましても、遠慮なくご相談ください。

※キャプランは、海運・造船業界をはじめとした専門人材サービス会社として数多くの転職支援実績があり、求人情報の提供だけでなく、中長期的なキャリア相談など豊富なノウハウでキャリア形成を支援しています。

<情報提供元>

キャプラン株式会社

担当：佐々木

TEL：03-6778-5514

MAIL：marine@mail.caplan.jp



富山高等専門学校

○第15回技術室研修会を開催

7月10日(月)、本校・射水キャンパスにて平成29年度技術室研修会を開催し、両キャンパスの教職員30名が参加しました。本研修は、技術者教育に必要な一般的、専門的知識を習得し、技術職員としての資質向上を図ることを目的として行っており、平成22年度から通算15回目の開催となりました。

午前中は、臨海実習場講義室にて、本校練習船「若潮丸」の中松英也 船長 による『船の話あれこれ』と題した特別講演を行い、船の構造・安全対策・環境保全など幅広い内容に受講者は熱心に耳を傾けていました。続いて、技術職員9名がそれぞれ業務に関する内容で口頭発表及びポスター発表を行いました。

午後からは、練習船及び臨海実習場ポンドにて、船員法で実施が義務付けられている操練を通じ、災害時に限らず自身の業務で想定外のことが起きた場合の危機管理意識向上を目的とした実習を行いました。



特別講演



消火操練



若潮丸操練

○「洋上救命講習」を実施

7月20日(木)、射水市海老江沖で「洋上救命講習」を実施しました。

本講習は洋上での救命技術を体得することを目的に行っており、商船学科4年生36名は、4班に分かれ、着衣のまま救命胴衣を装着し練習船「若潮丸」のデッキから2.7メートル下の海中へ一人ずつ飛び込みました。学生たちは救命筏を目指して泳ぎ、一旦筏に乗り込んだ後、再び船尾まで泳ぎ、自力でライフネットや縄ばしごをよじ登り、船に戻りました。

午後からは、実習海域を新湊沖5海里の海面に移動し、各種遭難信号の打ち上げ実習を行いました。



デッキから海へ飛び込む学生



救命筏に乗り込む学生



練習船へ戻る学生

○夏季オープンキャンパス

8月8日(火)～10日(金)の3日連続で、中学3年生とその保護者を対象としたオープンキャンパスを実施しました。商船学科では、練習船「若潮丸」で富山新港内の体験航海を計画しました。8日(火)は台風5号接近の影響で、「若潮丸」出港は中止となりましたが、9日(水)と10日(木)は体験航海を実施することができました。参加者

は船の運航の様子や機器を実際に見学し、乗組員、引率担当教員、補助学生と触れ合い、船員の業務、船員として働くことの魅力、実際の学校生活について、理解を深められました。



「若潮丸」体験航海

○遠藤真名誉教授が第10回海洋立国推進功労者表彰を受賞

8月28日(月)、本校の遠藤真名誉教授が、総理官邸大ホールにおいて「第10回海洋立国推進功労者表彰」を受賞しました。海洋立国推進功労者表彰とは、海洋に関する分野で顕著な功績を挙げた個人・団体を表彰し、その功績をたたえ広く世に知らしめることにより、国民が海洋に対する理解を深める契機とすることを目的としたものです。遠藤名誉教授は、高専・産業界連携による海事人材育成システムの構築と発展の功績が認められたことにより受賞しました。

(詳細は国土交通省 HP をご覧ください。)

http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01_hh_000404.html



各受賞者との集合写真 (前列左端が遠藤名誉教授)



授賞式の様子

○商船学科卒業証書授与式、専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式

9月26日(火)、射水キャンパス第2体育館において、平成29年度商船学科卒業証書授与式及び専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が挙行されました。賞雅寛而校長から、航海実習用の白い制服に身を包んだ商船学科卒業生35名へ卒業証書が、海事システム工学専攻修了生4名へは修了証書が手渡されました。

校長から、「本校で学んだ技術、問題解決能力そしてコミュニケーションの成果を、ぜひ我が国の海事産業、そして我が国・世界の発展に役立たせてほしい」と告辞があり、引き続き全日本船舶職員協会の及川武司専務理事から祝辞が述べられました。続いて、在校生代表の吉田圭佑学生会長(国際ビジネス学科4年)からの送辞を受け、卒業生・修了生を代表して高柳健伸さんが、「本校で得たたくさんの思い出と学びと経験を糧に、人生の針路を切り開き、一歩ずつ着実に前へ進んでいきたい」と力強く答辞を述べました。

最後に、卒業生たちは帆船の出航時に行われる「登檣礼(とうしょうらい)」の儀式に倣って「ごきげんよう」を三唱した後、制帽を投げるパフォーマンスを行い、出席者からは卒業生たちの新たな人生への船出を祝って大きな拍手が贈られました。



本科卒業生による帆船の登檣礼を模した、別れの言葉のパフォーマンス

○富山高等専門学校(旧:富山商船高等専門学校)OBによる講演会

9月29日(金)、日本郵船株式会社 機関士 蔵田恒志郎氏を講師として招聘し、本校商船学科学生向けの講演会を開催しました。講演では、船内での作業の様子について、写真を交えて解説され、

また食事やレクリエーションについても説明していただきました。

当日は会場がいっぱいになるほどの学生が集まり、質疑応答ではインターンシップを終えたばかりの4年生に続き、低学年からも積極的な質問が挙がりました。講師にもそれら質問に真摯に応えて頂き、学生にとって大変貴重な講演会となりました。



日本郵船株式会社 機関士 蔵田恒志郎氏（富山商船高専OB）による講演会

○2年生遠足、3年生県内企業見学、4年生県外工場・流通見学

10月27日、2年生の遠足が実施されました。学年全体で岐阜県高山市を訪れ、高山別院や旧城下町の歴史的な景観を見学し、ご当地のグルメを楽しみました。



2年生高山別院見学



飛騨高山にて、班行動で歴史的施設見学・街中の散策

同日には、3年生の県内工場見学が実施されました。商船学科はまず、岩瀬と富岩運河環水公園を結ぶ富岩水上ラインに乗船し、パナマ運河と同じ方式である中島開門で水のエレベータを体験するなど、約1時間のクルーズを楽しみました。午後からはYKK黒部工場を訪問しました。社員の方から業務内容や製品について説明を受けた後、工場で製品の製造工程を見学しました。また、電子情報工学科の学生は、東亜合成高岡工場・コマツ NTC 福野工場、国際ビジネス学科の学生は、富山第一銀行・YKK 黒部事業所の見学を行っています。

10月24日から27日には、電子情報工学科4年生は関東方面への県外工場見学として、MiXi・NTTNE サービス・ヒューレットパッカードなど、国際ビジネス学科4年生は同方面への流通見学として、東京税関・経済産業省・全日本空輸などを訪問しています。

これらの2~4年生の見学においては、卒業生の皆様、また卒業生がお世話になっております企業や団体の皆様に多くのご尽力を頂いております。学生に対して、貴重な体験の機会を与えて頂き、ここに感謝させていただきます。



富岩運河環水公園 中島閘門



3年生富岩水上ライン乗船

についてよく考えることは、今後の学習のモチベーションアップにつながると考えております。今後も、1年生だけでなく全学生に対して、船や港湾の現場を見て、現場の方々と触れあえる機会を設けたいと考えております。



教室での説明



各マスト名称の説明

○初代練習帆船「海王丸」見学学習

本校では、航海学科・機関学科が統合され、商船学科の航海・機関コースとなり、長年の間、コース別の新生募集を行っていましたが、本年度の1年生からは、コース分けでの募集を行わず、1年次の終わりに、航海と機関のコース分けを行います。そこで1年生に対し、航海と機関の各コースについてよく知って欲しいという思いから、10月31日(火)に、富山新港に係留保存されている初代練習帆船「海王丸」の見学学習を行いました。当日学生たちは、船橋や実習生居住区を見学し、「海王丸」乗組員から実習訓練や船内生活の様子について説明を受けました。また機関室にて各機器の説明を受け、非常用発電機の始動も体験しました。

こうして1年生が実際の船を見て、コース選択



機関室で非常用発電機の始動

○カッターレース大会

7月13日(木)、本校臨海実習場にて校内カッターレース大会が実施されました。大会前日まで悪天候が予想されていましたが、当日は時折陽射しが照り付ける絶好のカッター日和となりました。昨年度に引き続き、保護者有志によるチームにもご参加いただきました。大正時代より形を変えながらも脈々と受け継がれている伝統行事を参加者、見学者ともに楽しみました。



カッターレース大会

○第51回全国高専体育大会

8月から9月にかけて開催された第52回全国高専体育大会において、多くの学生が日頃の練習成果を発揮して、見事な成績を収めました。その一部を紹介します。(1位から3位のみを掲載)

- ・水泳男子 100m 背泳ぎ：1位, 200m 背泳ぎ：1位
- ・水泳女子 100m 平泳ぎ：3位
- ・柔道男子 90kg 超級：1位
- ・バスケットボール男子：3位
- ・陸上男子総合：3位, 女子総合：3位
(男子) 100m：3位, 200m：3位
110mH：2位, 4×100mR：1位,
砲丸投げ：1位 2位, 円盤投：2位
(女子) 100m：3位, 円盤投：3位,
やり投：3位

○全国高等専門学校ロボットコンテスト東海北陸地区大会

10月15日(日)三重交通 G スポーツの杜伊勢(三重県伊勢市)にて、全国高等専門学校ロボットコンテスト 2017 東海北陸地区大会が開催されました。本校射水キャンパスから出場した2チームは全国大会進出を果たせませんでした。相手陣地の風船を離れた位置から手裏剣や吹き矢で割るのに成功したときには、会場全体から大きな歓声があがりました。また大会後には本校の学生に対してロボットのお披露目会を行い、ロボットの機能を説明するとともに、様々な道具を駆使して風船を割っていく様子を披露しました。



ロボコンピット内



本校でのロボットお披露目会

(学生主事補 商船学科 山田圭祐)

○秋季オープンキャンパス

11月3日（金）および18日（土）、中学3年生とその保護者を対象としたオープンキャンパスが実施されました。

3日（金）、商船学科では、航海コースと機関コースの5年生がペアとなり学科説明を行いました。二人とも、既に海技教育機構での練習船実習を6月経験（2年次の3月と4年次の10～2月）しており、船の世界の魅力と商船学科に入って良かった所を、非常にうまく説明してくれました。その後、練習船「若潮丸」で富山新港内の体験航海を実施しました。また18日（土）には、操船シミュレータ体験と小型エンジンの組立・運転を行いました。



商船学科5年生による学科説明



臨海実習場艇庫での実習設備説明

○11月から3月の主な行事予定

11月3日、18日	オープンキャンパス
12月2日、9日	進学個別相談会
12月23日～1月8日	学生冬季休業
2018年	
1月21日	推薦選抜試験
1月24日	学生会長選挙
2月18日	学力選抜試験
2月22日	卒業研究発表会
2月26日	終業式
3月13日	本科卒業式、専攻科修了式

（教務主事補 商船学科 千葉 元）

鳥羽商船高等専門学校

○空手部 東海地区高専大会 団体戦(組手)で優勝

6月24日(土)に愛知県豊田市で開催された東海地区高専体育大会において、本校空手部が団体戦(組手)で優勝しました。



○バレーボール部女子・東海地区高専体育大会で優勝

7月1日(土)2日(日)に静岡県沼津市にて開催された、東海地区高専体育大会において、本校バレーボール部(女子)が優勝しました。



○カッター部 全国商船高専漕艇大会 Aチーム&Bチーム優勝

7月16日(日)17日(海の日)に鳥羽市池



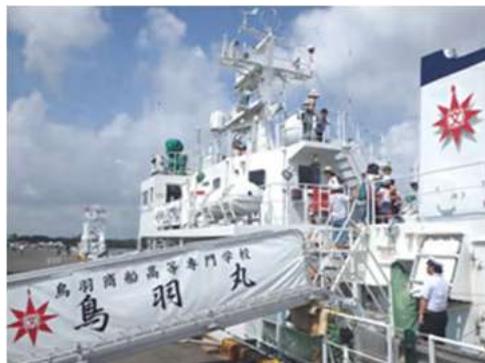
の浦湾で第52回全国商船高専漕艇大会(カッターの部)が開催されました。地元開催で盛り上がる中、4年ぶりに鳥羽商船Aチーム&Bチーム揃って優勝しました。



○『J-CREWプロジェクト ~やっぱり海が好き~』

7月29日(土)にJ-CREWプロジェクト主催、伊勢新聞社と本校の共催で「海の仕事を知らう!夏休み小学生乗船体験」が開催されました。イベントには「四代目海月七海」さんやマスコットの「キャプテンなみ丸」「ペギ機関長」

「サニーラダー」も参加いたしました。練習船鳥羽丸では、操船体験や機関室見学、現役船員の体験談などが行われ、大盛況のうちに終了しました。



○本校練習船「鳥羽丸」が四日市港まつりに参加

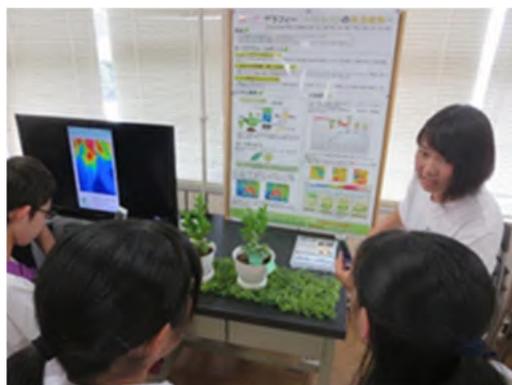
8月5日(土)～6日(日)に本校練習船「鳥羽丸」は四日市港霞ヶ浦地区に停泊し、四日市港まつりに参加しました。本校からは教員その他、有志の学生30名が参加し、8月6日(日)には練習船「鳥羽丸」の体験乗船および一般公開で船内説明や、カッター大会の運営を行うと共にレースに参加しました。

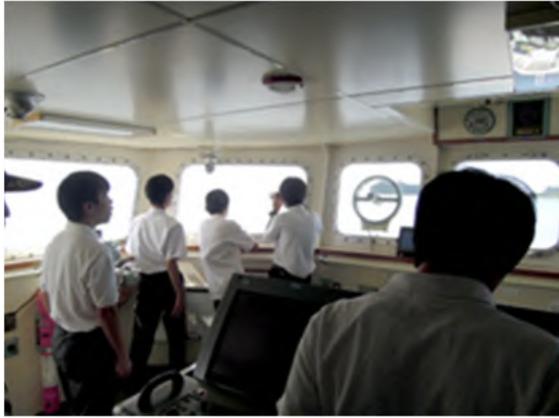
また、四日市港ポートビル内では本校ブースを設け、各学科のPR活動を行いました。

照りつける真夏の日差しの中にもかかわらず、鳥羽丸一般公開では小さなお子さんから年配の方まで、535人を超える方々に見学していただき、大盛況のうちに終了しました。

○学校説明会(オープンキャンパス)を開催

8月18日(金)、19日(土)の両日において、本校の学校説明会(オープンキャンパス)が開催されました。最初の「全体説明」において、高等専門学校での学習内容や学校生活、卒業後の進路等の紹介を行い、「学科紹介」の後、午後からは学寮案内、そして鳥羽丸体験航海の乗船を含む各学科の実験演習公開を実施しました。今回は初めて潮騒会館の食堂が営業、メニューは制限されましたが、普段学生が口にする食事も好評を得ました。昨年を100人近く上回る大勢の参加者にご来校いただき、全体説明では両日も補助席を多数ご用意させていただき盛況ぶりでした。





○HackU2017大阪 優秀賞受賞

8月25日（金）に開催された HackU2017 大阪にて、本校電子機械工学科のチームが優秀賞を獲得しました。

本作品は、甘いスイカかどうかを反響音から判断するシステムです。

評価された点は、「一番夏らしさが出ていたこと」、「スイカを音で判別するという昔ながらの見分け方に IT を組み込んだ部分」でした。



○学生スマートフォンアプリコンテスト受賞

8月29日（火）30日（水）に開催された第5回学生スマートフォンアプリコンテストにて、本校制御情報工学科の2チームが受賞しました。

「ひよっこ」チーム プレゼンテーション賞
（使う人の気分に合わせた楽曲を再生するアプリ。）

「Pぼでい」チーム ヤング賞
（食品に含まれるプリン体の量を記録・提示するアプリ。）

○「全日本ソーラー&人力ボートレース大会2017」にて一周スラローム準優勝

8月26日（土）27日（日）の両日、「全日本ソーラー&人力ボートレース大会2017」が、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターにて行われました。

レース当日は暑いくらいの晴天となり、トラブルも無く全レース無事完走することができ、「一周スラローム準優勝（人力 B）」と素晴らしい結果を達成しました。



○三重県高校新人陸上競技大会男子走高跳
で6位入賞→東海高校新人出場資格獲得

第56回三重県高等学校新人陸上競技大会が、9月16日(土)・18日(敬老の日)に、三重交通Gスポーツの杜伊勢補助競技場で開催されました。本校から男子走高跳(46名エントリー)に出場した畠田寛大君(電子機械工学科1年)が、1m83cmの自己ベスト記録で6位に入賞しました。この結果、第20回東海高等学校新人陸上競技大会の出場資格を獲得しました。



○高専プロコン 最優秀賞・優秀賞・特別賞を受賞!

10月8日(日)9日(体育の日)に山口県周南市で開催された高専プログラミングコンテストにて、以下のチームが各賞を受賞しました。

■課題部門 最優秀賞(文部科学大臣賞)

STEP～スコアブックと連動する動画閲覧システム～特別賞 テレスコア

■自由部門 優秀賞、さくらインターネット企業賞

うみどり～ドローンを用いた水産業支援システム～



○高専ロボコン デザイン賞&特別賞(安川電機賞)のダブル受賞、全国大会出場

「アイデア対決全国高等専門学校ロボットコ

ンテスト 2017 東海北陸地区大会」が、10月15日(日)に、本校主幹で伊勢市にて開催されました。本校からは、Aチーム(ロボコン部チーム:鳥羽G3)、Bチーム(M5卒研チーム:忍者羽鳥)の2チームが出場しました。競技は2つのチームによる対戦形式で行われ、1チームが2台のロボットを操作して相手のロボットと陣地に取り付けられた20個の風船を割る数を競いあいました。

Aチーム(ロボコン部チーム)は、緒戦1回戦で強豪福井高専Bチームに相手の陣地の風船をすべて割る勝利、2回戦で金沢高専と陣地の風船が同数もロボットの風船の個数で優勢勝ち、準々決勝で石川高専Bチームに陣地の風船の個数の優勢勝ち、準決勝で昨年度優勝校の富山高専本郷Aチームに敗れ、ベスト4の戦績を残し、デザイン賞を受賞しました。12月3日に行われる全国大会へ審査員推薦チームとして出場します。Bチーム(M5卒研チーム)は、2回戦からの登場で富山高専本郷Aチームと対戦するも破れましたが、特別賞(安川電機賞)を受賞しました。



(商船学科航海コース 齊心 俊憲 記)

同窓会だより

同窓会長就任のご挨拶

同窓会会長菅沼延之(S48N)



本年6月の同窓会総会にて会長に就任致しました菅沼延之です。名古屋在住、当

年として65歳、製造業に従事しております。

現在私と全船協との役職上の関係は同窓会長として顧問に就任しておりますが、20代現役の船乗り時代は会員として所属しておりました。そして約40年の歳月を経て再び全船協とのご縁が出来るとは誠に歳月の流れを実感しております。

当時の卒業生は大方の者が卒業と同時に会員となった事と思いますが、日本人船員の大幅な減少に伴って現在は旧十一会をベースに色々な出身母体から会員になっている方が多いと聞き及んでおりますが会員増加対策は国の日本人船員活用対策ひとつで変わってくると思っており、時勢に取り残される事なく情報収集につとめられる事が肝要と思います。

さて、私共の同窓会は母校の発展と共に歩んで参りましたが、卒業生こそ毎年100人強輩出しておりますが、いわゆる商船系の卒業生は40名弱かつ海上職に進む者は半分にも満たない為必然的に同窓会に加入しない事になり結果的に会員が増えないと言うのが現実であります。

「風が吹けば桶屋が儲かる」の格言で言えば海上職に進む者が増える環境造りが展開され

れば、最終的に全船協の会員も増えて来るものと思います。

今後一層同窓会長として会と全船協との橋渡しをして共に発展して行く事につとめて参りますので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

広島商船高等専門学校

学校便り

○第53回中国地区高専体育大会に出場

7月7日（金）～7月9日（日）第53回中国地区高専体育大会に出場しました。松江会場、米子会場において連日にわたり熱戦が繰り広げられました。なかでも卓球部は男女とも団体戦・個人戦で優勝するなど多方面で学生が活躍しました。



サッカーの様子

○ひらめき☆ときめきサイエンスの開催

7月30日（土）、本校において、日本学術振興会の委託事業であるひらめき☆ときめきサイエンス「振動の不思議を学ぼう！例えば同じ地震でも建物によって揺れ方が違うのはなぜ？」を開催し、約30名の生徒・保護者の参加がありました。この事業は科学のおもしろさを感じてもらうことを目的としたプログラムです。本校教員だけでなく、学生も講師として実験器具の説明をするなど教育的なイベントになりました。



実験前の説明



卓球部（男子）



実験の様子



卓球部（女子）

○第1回オープンスクールを実施

8月5日（土）、6日（日）、本校において、オープンスクールを開催しました。

炎天下の中、県内外から500名を超える参加者があり、多くの中学生及び保護者の方が来校され、体験授業の受講、技術教育センター棟、学生寮、練習船広島丸の見学をされました。



寮地区見学の様子

○全国高専体育大会（女子やり投げ）で優勝
8月26日（土）、27日（日）の2日間、長野県で全国高専体育大会陸上競技が開催され、本校陸上競技部が出場しました。女子やり投げで優勝、男子100mで第4位、女子円盤投で第5位、女子100mで第7位、男子砲丸投で第8位と5名が入賞と健闘しました。



練習船広島丸見学



陸上部記念撮影

○全国高専体育大会（卓球男子シングルス）で優勝

8月19日（土）、20日（日）の2日間、茨城県で全国高専体育大会卓球競技が開催され、本校卓球部からは、男子シングルス、男子団体、女子シングルス、女子ダブルスの各競技に出場しました。男子シングルスでは優勝と準優勝し、女子シングルスは第3位、さらには男子団体でも第3位といずれも素晴らしい結果を残すことができました。

○海事教育勉強会を開催

8月21日（月）本校と（社）日本船主協会の共催による海事教育勉強会を開催しました。この勉強会は主に小中学校の教員の方を対象に海事教育を説明することで、船員教育のみならず海事教育全般に対する理解の促進を図ることを目的として開催されました。



競技の様子

参加者は大崎汽船（株）の協力のもと旅客フェリーの操舵室・機関室の見学や本校練習船広島丸での講演会・船内見学をし、その後（株）松浦造船所の協力のもと造船所を見学しました。本プログラムを通じ、我が国における海運事業の重要性についての認識を深めるきっかけとなったようです。



船内見学

○卒業証書・修了証書授与式を挙

8月23日(土) 商船学科卒業証書授与式、専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が挙行されました。卒業生・修了生代表が、「この学校生活で学んだことを大いに活かし、広い視野と柔軟な発想を持ち続け、より一層社会で活躍できるよう、新たな目標や希望に向かって努力していきます」と答辞しました。

来賓、保護者、在校生及び教職員に見送られ、商船学科航海コース26名、商船学科機関コース21名、海事システム工学専攻2名が本校を巣立っていきました。



巣立っていく卒業生

○COC 事業：獣害対策シンポジウムを開催

9月30日(土)、10月1日(日)の2日間、大崎上島開発センターにおいて本校と大崎上島町が共催し、獣害対策に関するシンポジウムを開催しました。大崎上島で増え続けているイノシシの被害をどうやって防いでいくのか、専門家からの情報や、参加者でのワークショップ、現地でのフィールドワークを通して考える良い機会となりました。特にワークショップでは、本校学生も参加し、住民の方から地域の課題を直接聞いたうえで、その解決策を提案しました。



ワークショップ

(高専N8期、水井真治、記載)

○校友追悼合祀式を挙

10月29日(日)雨の中、本年度も航海科55期 岩江成徳様のご遺族をはじめ、学校長、事務部長、校友会会長、校友会員、在校生参列のもと合祀式がしめやかに挙行されました。



新たな合祀者は、25名の方々(敬称略)です。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

航海科 46期	櫻井 昭三
航海科 46期	倉橋 正尊
航海科 53期	三村 宏一郎
航海科 53期	宮田 徹治郎
航海科 55期	岩江 成徳
航海科 63期	中野 征彦
航海科 66期	山本 多佳志
機関科 06期	吉岡 正良
機関科 17期	石田 博昭
機関科 18期	石井 和博
機関科 21期	高田 和人
機関科 21期	恵良 照雄
機関科 21期	邦高 太郎
機関科 22期	藤満 利幸
機関科 22期	吉澤 弘
機関科 23期	小橋 出美
機関科 24期	井上 敬介
機関科 24期	矢野 孝男
機関科 25期	渡邊 茂
機関科 25期	赤沢 守
機関科 32期	甲斐 靖
機関科 33期	円光 俊幸
機関科 33期	村上 政昭
機関科 43期	加納 久史
商船学科 3期	稲田 佳介

(広島商船高専校友会事務局、記載)

大島商船高等専門学校

平成 29 年度は、**創基 120 周年、高専創立 50 周年記念**の年になります。

◎平成 29 年 6 月末から 11 月初旬にかけて行われた、主な式典、教育活動、地域連携などを紹介します。

1. 式典・催事

○平成 29 年度慰霊祭開式

平成 29 年度慰霊祭が、平成 29 年 9 月 25 日（月）に執り行われました。同日、同窓会総会も開会されました。同窓会より慰霊祭に関する寄稿文をいただきましたので、紹介いたします。

「同窓会だより」

平成 29 年 9 月 25 日、秋晴れの下で御遺族、同窓会役員、学校関係者、在校生にご参列いただき、平成 29 年度慰霊祭が厳かに執り行われました。黙祷、合祀者（全 43 柱）の紹介、追悼の辞の後、出席いただいた方々に献花をしていただきました。最後に、ご遺族を代表して教員・岡本 正典様の御遺族からご挨拶をいただきました。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、毎年、本校の創立記念日（10 月 1 日）の前週に、同窓会主催に協賛して学校行事（関係教職員、在校生参加）としても行う慰霊祭ですが、今の形（無宗教で献花、写真参照）となったのは創立 100 周年の時からです。

敷地内にモニュメントとして現存する慰霊塔に、亡くなった同窓生及び旧教職員の中で、ご遺族が合祀希望なされた方々の芳名を記した目録を収め、関係者が追悼いたします。参加されたご遺族、同窓生役員、現教職員、在校學生一同も、このキャンパスで一時期過ごされ、その後社会で活躍された亡き方々に思いを馳せる行事として、本校同窓会が主催して行っております。

お忙しい中ご参列ありがとうございました。今後ともよろしくお祈りいたします。

○平成 29 年度商船学科卒業証書授与式、海洋交通システム学専攻修了証書授与式を挙

行 平成 29 年度卒業証書、専攻科修了証書授与式を、平成 29 年 9 月 21 日（木）に挙行了しました。今年度の商船学科卒業生は 36 名、海洋交通システム学専攻修了生は 1 名でした。恒例となっている登壇札が非常に美しく卒業生の明るい未来を示しているようでした。

○平成 29 年度海洋交通システム学専攻入学式を挙

行 平成 29 年度海洋交通システム学専攻入学式を、平成 29 年 10 月 2 日（月）に挙行了しました。今年度は、3 名の学生が入学しました。



平成 29 年度慰霊祭



卒業式、修了式



海洋交通システム学専攻入学式

2. 教育活動

○商船学科1年生“大島丸”航海実習を実施（行先：大分県など）

平成29年7月5日（水）および10月17日（火）～18日（水）、商船学科1年生の学生が航海実習を行いました。台風などの影響による、動揺や視界の悪化、初めての泊を伴う実習など、緊張の連続でしたが、大きな声でアンサーバックすることを目標に、元気よく取り組んでいました。

○商船学科5年生対象の救命講習を開催

平成29年7月24日（月）、本校で商船学科5年生を対象に救命講習を実施しました。当日は諸説明から始まり、救命いかだの投下・展張、救難信号や発煙筒等の実演、緊急避難時の飛び込み訓練を実施しました。飛び込み訓練として、約3mの高さの大島丸甲板からの飛び込み。救命いかだへの乗艇。ロープを伝って大島丸へ帰船を行いました。

○シンガポール・マリタイム・アカデミー(SMA)学生の受け入れ

平成29年10月1日（日）～6日（金）、SMAに在籍する学生が本校ならびに本校練

習船大島丸などで研修を行いました。本校の学生も研修に参加しました。研修に参加した学生たちは、違う文化や言語をもつ学生と交流を深めると同時に、英語学習に対するモチベーションを高めた様子でした。



商船学科1年生航海実習



シンガポールマリタイムアカデミー学生受け入れ



救命講習

○第28回プログラミングコンテスト開催

平成29年10月8日(日)～9日(月・祝)、本校が主幹校となり第28回プログラミングコンテストを開催しました。主にプログラミングの腕を競う大会ですが、学科の別なく全校を挙げて開催、運営しているため、学生が最先端の技術に触れることで、プログラミングなどに対する意欲が増進しているようです。

3. 地域連携活動、公開講座など

○周防大島町と連携協力推進会議開催

平成29年7月18日(火)、地元周防大島町と連携協力推進会議を開催しました。連携協力協定を締結している周防大島町と大島商船高等専門学校が、お互いの運営方針・現況について情報交換を行い、行事等における相互協力の推進を目的として、毎年開催しているものです。

当日は、本校石田校長、椎木周防大島町長による挨拶の後、本校の現況報告や、今後の予定について説明を行いました。続いて、周防大島町の現況を説明していただきました。現状報告などの後、通学路の整備や本校練習船大島丸による海事への理解促進広報活動等について、意見交換を行いました。

○サイエンスアカデミーで工作教室開催

平成29年7月23日(日)、防府市青少年科学館ソラルの主催するサイエンスアカデミーで、「ポンポン船をつくろう!」と題した、小学3年生～小学6年生を対象とする工作教室を開催しました。サイエンスアカデミーは、次世代を担う青少年に科学に対する興味を持ってもらうことを目的として、県内外の小中学生を対象に開催されている科学教室です。

工作教室「ポンポン船をつくろう!」は、今年で3回目の実施であり例年好評をいただいていることから、サイエンスアカデミーのパンフレットの表紙を飾ることができたため、大変人気のある講座となりました。自分たちで作ったポンポン船が水の上を走り始めたとき、子どもたちはみんな驚き、感激している様子でした。本校の学生も、子どもたちと一

緒に工作をすることで、有意義な時間を過ごせた様子でした。



周防大島町と連携協力推進会議



工作教室「ポンポン船をつくろう!」

4. 学校PR活動

○平成29年度第2回オープンキャンパスを開催

平成29年8月5日(土)、今年度2回目のオープンキャンパスを開催しました。事前予約が必要であるにもかかわらず、山口県内や広島県、九州から、375名の方に参加いただきました。全体説明の後、参加者は本校学生の案内により、各学科の体験学習や施設見学、大島丸体験航海等をしていただきました。また、1日コースの参加者の方には学生寮での昼食体験もしていただきました。

○平成29年度第3回オープンキャンパスを開催

平成29年11月3日(金・祝)、今年度3回目のオープンキャンパスを開催しました。商船祭(学園祭)と同日に開催しました。事前予約が必要ない自由参加形式で開催しており、教務主事及び各学科長による学校および各学科の説明、実験室の公開等を行いました。

本校学生による案内や引率、質問回答も行われました。山口県内のみならず、遠くは和歌山県から熊本県まで、約 150 名の参加がありました。本校の制度や雰囲気を知っていただく良い機会になりました。

○平成 29 年度 商船祭 (学園祭) を開催

平成 29 年 11 月 3 日 (金・祝)、今年度の商船祭を開催しました。近年は、学生が自ら立案実行することで、徐々に変化しています。前夜祭の開催、学校関係者でない方の飛び入り参加、献血や全国展開しているファーストフード店の出店、限定グッズの販売など、関係者のみならず、外部の方を含めた様々な協力を得ることで実践できているようです。また、昭和 33 年から続く手旗踊りも伝統行事として健在であり、遠方の石川県からも来場者がありました。



商船祭

◎学業やクラブ活動による主な表彰

○【コンピュータ部】プログラミングコンテストで受賞

平成 29 年 10 月 8 日 (日)～ 9 日 (月・祝)、山口県周南市文化会館で行われた、第 28 回全国高等専門学校プログラミングコンテストにおいて、課題部門と自由部門において特別賞を受賞しました。

○ 産業応用工学会全国大会で学生賞

平成 29 年 9 月 22 日 (金) 九州工業大学戸畑キャンパスで行われた産業応用工学会全国大会において、本校電子・情報システム工学専攻 2 年生が学生賞を受賞しました。

◎おわりに

今年度末には、**創基 120 周年記念誌** (本原稿提出後に執り行われる記念式典内容を含む) が HP 上で入手できるようになると思います。今後とも、さらなるお引き立てよろしくお願い致します。

(教務主事補 村田 光明 記)



第 2 回オープンキャンパス



第 3 回オープンキャンパス

弓削商船高等専門学校

平成 29 年度商船学科卒業式及び専攻科 (海上輸送システム工学専攻)修了式

平成 29 年 9 月 26 日 (火)、平成 29 年度商船学科卒業式及び専攻科(海上輸送システム工学専攻)修了式を挙行了しました。卒業生 36 名・修了生 2 名は本校を巣立ち、新たな門出の日を迎えました。

井瀬校長から「皆さんが良き航海に向かって帆をあげることを祈念します」と式辞があり、続いて、来賓の上島町長及び一般社団法人全日本船舶職員協会会長より心のこもった御祝辞を頂きました。

式の終盤、卒業生総代による答辞が述べられた後、本校商船学科卒業式恒例のセレモニーが行われ、卒業生代表の吹く笛に合わせ、卒業生一同が「ごきげんようー！」の掛け声を放った直後、全員が帽子を高らかに投げ、多くの帽子が誇らしく宙を舞いました。

卒業生・修了生たちの表情は、これからの輝ける未来に期待を膨らませているかのように輝いてみえました。



平成29年度卒業予定者就職・進学先

商船学科 卒業予定者 36名

平成29年9月26日現在

航海コース 22名

就職(進学)先
シヨクユタンカー(株) 2名
イイノガストラスポーツ(株)
(株)ビーアンドエス・エンタープライズ
久本汽船(株)
中栄マリン(株)
河菜海運(株)
セイホ工業(株)
大和海運(株)
大盛丸海運(株)
(株)霧島海運商会
鹿児島船舶(株)
(株)ウイングマリタイムサービス
日本海運(株) 2名
川近シップマネージメント(株)
共栄タンカー(株)
太洋日本汽船(株)
弓削商船高等専門学校 専攻科 3名
大島商船高等専門学校 専攻科

機関コース 14名

就職(進学)先
宇和島運輸(株)
共栄マリン(株)
鹿児島船舶(株) 2名
如月汽船(株)
NSユナイテッド海運(株)
川近シップマネージメント(株)
加藤海運(株)
日本郵船(株)
(株)豊栄海商
栗林マリタイム(株)
太洋日本汽船(株)
三洋海事(株)
東京海洋大学

専攻科 修了予定者 2名

海上輸送システム工学専攻

就職(進学)先
大阪旭海運(株)

四国地区高専体育大会で剣道部団体優勝, 柔道部, 水泳部が準優勝!

平成 29 年度の四国地区高専体育大会において、弓削商船高専として 8 年ぶりの団体優勝(剣道部)、その他個人での活躍が目立ちました。

剣道部 男子団体 優勝 7 月 8 日(土)
高知高等専門学校開催

柔道部 男子団体 準優勝 7 月 8 日(土)、9 日(日) 香川高等専門学校(高松)開催

水泳部 団体総合 準優勝 7 月 8 日(土)、9 日(日) 香川高等専門学校(詫間)開催

全国高専体育大会では、剣道競技が、8 月 19 日(土)、8 月 20 日(日)に東京理科大学葛飾キャンパスで、柔道競技が、8 月 26 日(土)、8 月 27 日(日)に長岡市市民体育館でそれぞれ開催され、剣道競技が男子団体戦にて見事 3 位に入賞、個人戦では柔道競技が 90kg 級で見事 3 位に入賞しました。



全国大会へ出場した剣道部 (男子団体)



全国大会へ出場した柔道部 (男子団体)

2017Ene-1 GP 鈴鹿 KV-BIKE チャレンジ
全国大会において、3連覇達成！

四国 EV ラリーにおいても入賞

平成 29 年度 8 月 26 日(土)、鈴鹿サーキット
国際レーシングコースにおいて 2017
Ene-1GP 鈴鹿 KV-BIKE チャレンジ全国大会
が開催されました。本校電子機械工学科チーム
は、大学、高専、専門学校部門に参加し、

3連覇を達成。さらに、一般、高校、中学部
門を含めた総合成績で 3 年連続となる 2 位を
獲得しました。

また、同チームは同じ自転車のバイクを原動
機付き自転車に登録して 8 月 26 日(土)、27
日(日)に淡路島で開催された四国 EV ラリー大
会にも参加し、見事入賞しました。



四国 EV ラリー大会の参加選手

海技教育機構

○ 乗船実習

高専4年生は、昨年(2019年)の10月1日から日本丸(航海科・機関科)及び銀河丸(機関科)の2船に分かれ5ヶ月間の長期実習に励んでいます。

日本丸は12月9日に横浜港を出航し、クリスマス、年越しを太平洋上で迎えながらヒロ港(ハワイ島)及びホノルル港(オアフ島)へ向けた遠洋航海を行っています。

なお、ヒロ港への寄港は、今年が明治元年(1868年)に組織的な移民として初めて日本から約150名がハワイに到着してから150年目の記念すべき年であり、在ホノルル日本国総領事から要請をいただき実現しました。東京帰港は2月8日の予定です。

また、高専2年生は、3月1日から1ヶ月間、日本丸及び銀河丸の2船に分かれ、短期実習を行う予定です。

【写真①】 日本丸乗船式



【写真②】 銀河丸乗船式



○ 日本丸が「金比羅宮流し樽奉納式」を挙

行し遠洋航海へ出航

～地元漁港の協力を得て航海の安全祈願を図る～

日本丸は、10月に瀬戸内海を行動する機会を捉え、伝統ある風習に則り、流し樽の奉納を以て参拝に代えるべく「金刀比羅宮流し樽奉納式」を執り行いました。

航海の安全祈願と12月に控えた遠洋航海へ向けた高専実習生・乗組員の士気高揚を図るため、金刀比羅宮への参拝をしたい意向がありましたが、航海スケジュール等の関係で寄港ができなかったことから実施したものです。

今回は、付近の漁業協同組合の協力も得て、坂出沖を航行する際に樽を奉納するために海上に流し、漁船に拾っていただきました。

ご存じのとおりこの奉納式は、海の神様である金比羅さんにお参りができない人が、航海の安全などの願いを込めて樽を海に流し、その樽を拾った人が金比羅さんへ代参し樽を奉納するという江戸時代から海の男たちに伝わる珍しい風習で、樽を流した人も、届けた人も、神のご加護があり心願成就すると伝えられています。

【写真③】 日本丸が奉納した樽



平成30年1月から3月までの乗船実習の予定は次のとおりです。

○日本丸

高等専門学校（航海科、機関科）4年

1/6~9 ヒロ、1/10~15 ホノルル、2/8 東京着、2/10 下船

高等専門学校2年

3/1 乗船、3/3 東京発、3/9~14 横須賀、3/19~23 鹿児島、3/29 東京着、3/31 下船

○海王丸

大学（航海科）4年

海技大学校専攻（航海科）1年

海上技術学校3年

1/5 乗船、1/9 東京発、1/18~22 細島、1/25~29 鹿児島、2/8~13 別府、2/16~20 広島、2/27~3/3 神戸、3/8 東京着、3/10 下船

○大成丸

海上技術学校3年

1/5 乗船、1/6 東京発、1/12~16 鹿児島、1/23~27 神戸、2/2~6 広島、2/16~21 佐世保、2/27~3/3 別府、3/8 神戸着、3/10 下船、入渠、3/28 東京

○銀河丸

高等専門学校（機関科）4年

海上技術短期大学校（波方）1年

高等専門学校2年

1/5 乗船（海短）、1/9 東京発、1/16~20 高松、1/29~2/3 長崎、2/8 神戸着、2/10 下船（高専4年）、2/13 神戸発、2/17~22 鹿児島、2/26 神戸着、3/1 乗船（高専2年）、3/3 神戸発、3/9 横浜着、3/10 下船（海短）、3/14 横浜発、3/19~23 名古屋、3/28 東京着、3/31 下船（高専2年）

○青雲丸

大学（機関科）4年

海技大学校専攻（機関科）1年

海上技術短期大学校（波方）1年

海上技術学校3年

六級航海

1/5 乗船（大学、海大、海短、海校、六級）、1/6 東京発、1/15~20 佐世保、1/26~30 別府、2/5 神戸着 下船（六級）、2/9 神戸発、2/15~19 今治、2/26~3/3 鹿児島、3/8 神戸着、3/10 下船（大学、海大、海短、海校）、入渠、3/24 東京

○ 新人航海士・機関士採用

10月1日、高等専門学校専攻科出身の航海士1名を含む新人職員4名を迎えました。

航海士3名（うち女性1名）、機関士1名の新メンバーは、早速新規採用職員研修を受け、航海訓練業務、職員・教官としての心構え等について学びました。1週間にわたる研修の最後には、入念に準備した模擬講義を実施し先輩教官から助言や激励を受けました。新人職員は、それぞれ練習船に配属され、乗船勤務を開始しました。

できるだけ早く新しい環境に慣れ、良き教官として活躍されることを期待しています。

【写真④】 新人航海士・機関士



【写真⑤】 模擬講義の様子



○ UW旗手ぬぐいの制作に貢献

JMETS 練習船カレーに引き続き、今般「UW 手ぬぐい～JMETS バージョン～」の制作に協力しました。

全国の寄港地や狭い水道通過時には、地元の方々から UW 旗にて歓迎や航海の無事を祈願していただいています。練習船や客船等の歓迎・見送りにご活用いただければ幸いです。

【写真③】 UW旗手ぬぐい

品名：「UW旗型手ぬぐい～JMETS バージョン～」

サイズ：約W90cm×H35cm

生地：岡（綿100%）

販売元：(株)スズキネ(墨田区吾妻橋)

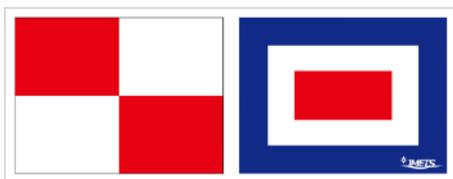
<http://www.suzukine.co.jp/flag.html>

JMETS では遠洋航海の度に紙製のUW旗を作成し、見送り者に配布していますが、1度しか使用できず、作成の手間がかかるばかりではなく、使用後はゴミになっているため環境問題にもつながればと期待しています。

○ 「練習船教育支援募金」のお礼とご報告

募金活動を通じて練習船教育に対する理解の促進を図ることを目的とし、平成29年度から一般公開等のイベント時に募金箱を設置して寄附を広く募っています。

上半期は、長崎帆船まつりから開始し6つの港にて、合計2,260,158円のご寄付を頂きました。海洋会会員の皆様をはじめ、多くの方々か



らご支援、ご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

寄附金は、練習船の設備や教材など、練習船における教育の充実に必要な資金として活用していきます。また、具体的な使途や収支等の情報について、ホームページで公開していきます。

海技教育機構は、ホームページ及びFacebook等のSNSを活用し、業務運営に関する情報、練習船における実習状況ならびに各寄港地でのイベント情報を発信しています。是非ご覧ください。

HP：<http://www.jmets.ac.jp>

企画調整部企画課 岩崎 裕行

・海技教育支援事業 ・奨学金貸与事業
・帆船海王丸体験航海事業 等

公益財団法人 海技教育財団

会長 武藤 光一

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4

電話 (03) 3288-0991 URL <http://www.nacf.jp>

本部・支部だより

〈 本 部 〉

- | | | | |
|----------|---|----------|---|
| 17.08.01 | 練習船銀河丸船機長来会挨拶 | 17.09.20 | 平成 29 年度東京地方船員安全衛生月間
訪船指導に参加東京海洋大学 海鷹丸
(田島) |
| 17.08.05 | 練習船銀河丸遠洋航海出港式(岩田、
及川、田島) | 17.09.21 | 平成 29 年度大島商船高等専門学校卒業
証書・専攻科修了証書授与式(吉本理
事) |
| 17.08.07 | 社会保険労務士吉岡氏来会 | 17.09.23 | 平成 29 年度広島商船高等専門学校卒業
証書・専攻科修了証書授与式(望月理
事) |
| 17.08.08 | 田中氏、大沢氏来会 会報 135 号校正打
ち合わせ | 17.09.24 | 平成 29 年度鳥羽商船高等専門学校卒業
証書・専攻科修了証書授与式(岩田会
長) |
| 17.08.15 | 終戦記念献花式(観音崎)(岩田、及川) | 17.09.25 | 平成 29 年度弓削商船高等専門学校卒業
証書・専攻科修了証書授与式(柏木理
事) |
| 17.08.18 | 平成 29 年度第 1 回東京地方船員労働安
全衛生協議会(岩田、田島) | 17.09.25 | 平成 29 年度富山高等専門学校卒業証
書・専攻科修了証書授与式(及川専務) |
| 17.08.24 | みずほ証券夏苺氏来会打合せ | 17.09.27 | 栗林商船株式会社 稲田博久取締役船舶
部長訪問(岩田、及川) |
| 17.08.29 | OAG 浦野氏訪問(今後の会計処理打ち
合わせ)(及川、田島) | 17.09.28 | 海技教育機構研究発表会)日本丸サイド
教室(岩田) |
| 17.09.01 | JLL 榊氏、大久保氏、宮口氏来会 三信
ビルの問い合わせ状況説明 | 17.10.02 | 日本郵船OB会(岩田) |
| 17.09.04 | 平成 29 年度東京地方船員労働安全衛生
月間訪船指導に参加商船三井フェリー
株式会社「むさし丸」(田島) | 17.10.03 | JLL 宮口氏、大久保氏来会打合せ |
| 17.09.06 | 平成 29 年度東京地方船員安全衛生月間
訪船指導に参加琉球海運株式会社 ひ
めゆり II (岩田、田島) | 17.10.03 | 海技教育財団理事会(岩田) |
| 17.09.07 | 平成 29 年度東京地方船員安全衛生月間
訪船指導に参加日本海運(株)「ひまわり
6」(岩田、田島) | 17.10.05 | リベラ株式会社地戸常務来会打合せ |
| 17.09.08 | 第 50 回船員災害防止関東大会(岩田、
田島) | 17.10.06 | 波濤を超えてオープニング(日本丸パー
ク)(岩田) |
| 17.09.11 | キャプラン(株)佐々木氏 & 島田陸氏来
会 | 17.10.07 | 平成 29 年度第 2 回理事会(和泉橋区民
館) |
| 17.09.11 | 平成 29 年度東京地方船員安全衛生月間
訪船指導に参加 | 17.10.10 | 海洋会横浜支部懇親会(岩田) |
| 17.09.11 | 平成 29 年度東京地方船員安全衛生月間
訪船指導に参加芝浦通船(株)、東港サー
ビス(株)(田島) | 17.10.11 | 公益財団法人海技教育財団奨学生選考委
員会(田島) |
| 17.09.12 | NTT 東日本 小林氏来会 | 17.10.11 | 皇居東御苑「桃華堂海霊奏上」に参加(岩
田、及川) |
| 17.09.12 | みずほ証券 夏苺氏来会 | 17.10.12 | 公益教育財団海技教育財団評議員会(及
川) |
| 17.09.13 | みずほクレジットセミナー(及川) | 17.10.18 | 大和証券打合せ |
| 17.09.14 | 大和証券 清水氏来会 | 17.10.20 | 大和証券打合せ |
| 17.09.20 | 株式会社シーライン東京 シンフォニー
ークラシカ、シンフォニーモデルナ(岩
田、田島) | 17.10.20 | 平成 29 年度第 2 回東京地区安全衛生協 |

- 議会 (岩田、田島)
- 17.10.24 執行役員会議 (岩田、赤嶺、及川、田島)
- 17.10.26 ラディックス 雨宮氏、来会打合
- 17.10.31 「ラメール会」ゴルフ (岩田)
- 17.10.31 JLL大久保氏来会、三信ビル賃貸借契約取交
- 17.11.01 株式会社ユニバーサル マリン岡田会長 高鍋常務取締役国際船員部長来会
- 17.11.13 カスタマリン代表戸川剛氏、株式会社共栄エンジンサービス濱田次寿氏来会
- 17.11.14 慶友会懇談会 (岩田)
- 17.11.15 海事局海技教育室長と打つ合わせ (及川)
- 17.11.17 元ダイキン近藤氏と打合せ
- 17.11.17 神戸にて神戸支部長と打合せ (岩田)
- 17.11.18 大島商船高等専門学校創基120周年及び創立50周年記念式典 (岩田)
- 17.11.20 第1回平成30年役員立候補者選考委員会
- 17.11.20 富山高等専門学校 山本先生、他3名来会
- 17.11.21 富山高等専門学校諮問会議(富山) (及川)
- 17.11.22 キャプタン株式会社佐々木氏来夏
- 17.11.22 弓削商船高等専門学校同窓会京浜支部総会懇親会 (岩田)
- 17.11.22 水素サプライチェーン等の説明会 (岩田)
- 17.11.24 みずほ証券夏苺氏来会打合せ
- 17.11.27 大和証券打合せ
- 17.11.28 富山高等専門学校遠藤 真名誉教授の10回海洋立国推進功労者表彰の受賞記念祝賀会 (岩田)

- 17.12.03 高専ロボコン大会応援 (岩田)
- 17.12.04 高専5校同窓会長との懇談会
- 17.12.05 日本丸船・機長来会挨拶
- 17.12.09 日本丸出航式 (岩田、及川、田島)
- 17.12.09 銀河丸 出前講座 (岩田、及川、田島、キャプタン佐々木)
- 17.12.12 富山高専、海事キャリア教育セミナー (及川、キャプタン佐々木)
- 17.12.13 富山高専、次世代海事人材教育PJ運営委員会 (及川、キャプタン佐々木)
- 17.12.15 船員災害防止連絡協議会 (岩田、田島)

< 神戸支部 >

- 17.07.12 内海水先人会会員の請求書作成
- 17.07.19 海フェスタ神戸
- 17.07.24 定例会 出席者5名、内海水先人会へ集金14:00
- 17.09.13 といちクラブ ゴルフコンペ案内各校幹事宛
- 17.09.25 定例会 出席者3名
- 17.10.13 大阪湾水先区水先人会会費未納者追出
- 17.10.27 定例会 出席者5名
- 17.10.30 といちクラブ 締切
- 17.11.01 といちクラブメンバー表ゴルフ場へ連絡
- 17.11.13 といちクラブ ゴルフコンペ 小野グラウンドGC
- 17.11.17 会長と会食業務打合せ (於:三宮)
- 17.11.27 定例会 出席者7名
- 17.11.29 ビル総会 10:00~12:00



謹賀新年

一般社団法人 全日本船舶職員協会

会長 岩田 仁

副会長	赤嶺 正治	理事	矢野 芳秀
専務理事	及川 武司	理事	山田 貢
理事	小木曾 順務	理事	吉本 公則
理事	柏木 実	理事	事務局長 田島 孝一
理事	濱崎 龍也	監事	渡部 英利
理事	松見 準	監事	本望 隆司
理事	望月 正信		

会費納入者芳名帳 (敬称略)

平成29年8月1日～12月8日現在

8月入金	中瀬 和典	大西 正則	畑 辰幸
個人入金	橋之口 勉	須浪 英人	阿久根 浩人
福地 赴雄	増田 信	瀧口 龍雄	久保田博公
山友汽船	武田 雄三	大宮 博孝	徳森 生喜
望月 正信	中川 和俊	日朝 俊哉	田丸 修
松林 祐馬	佐野 博	亀山 道義	加藤 正孝
北島 章市	南 清氏	松見 準	松田 孝平
中山 修作	力武 敏美	橋本 禎成	竹内 航
前田 重信	栄 雄生	吉澤 勇	横田 実保
三浦 宗義	中平金次郎	加山 文治	横田 道代
高梨 満雄	納 英治	増島 忠弘	針生 あや
名木 彰平	石井 聖二	松田 伸一	終身会員
石屋 安生	中川 佳彦	西村 陽造	山田 貢
川渕 仁	藤井 一洋	太田 祐二	紺頼 英雄
多田 幸悦	近藤 武	岡田 稔	柿山 朗
西川 勝久	東野 友和	堀田 規安	新規加入(大島)
畠山 進	厚東 貞治	内藤 真世	岩本 竜輔
濱本 邦夫	沖本 和也	小松 和夫	小林 瑞樹
山田 和久	畑内 康孝	後藤 雄一郎	坂 頼和
仁藤 多喜男	富山 貴史	西村 誠	山口 健
菊地 栄輝	西村 臣正	山田 司	水中 春道
長嶋 大介	熊井 秀樹	大木 未来	中村 賢弥
村岡 稔	安岡 征治	岡崎 哲也	南郷 佑丞
板谷 拓実	桑田 大輝	福畑 裕士	廣田 琴美
松ノ尾 明	田中 健一	大江 俊洋	中尾 勇人
大阪湾水先区	島居 文哉	吉原 洸喜	岩本 真菜美
水先人会	田中 友美	本田 一馬	大野 達也
高橋 健治	川越 義人	芝 修次	井神 滉平
9月入金	渡辺 隆彦	加藤 郁夫	西山 巧
個人	國武 千歳	津田 道夫	野口 凌椰
田中 善治	小田部 誠一	伴 良造	鬼塚 珠明
前田 安紀	大野 晃照	山口 正二郎	10月入金
中居 豊平	濱尾 弘宣	今村 義幸	個人入金
杉山 秀光	野村 浩久	田原 大輔	坂部 正憲
井上 徹	西谷 直記	八角 操	藤中 恒夫
村田 一明	西谷 勇二	石津 勝義	赤松 健康
積水 貢	蔦 正昭	升田 万寸穂	木村 公太郎
山口 久雄	濱口 澄夫	竹田 英樹	師富 潤
岩本 正直	太田 知孝	立石 尚登	大津賀 吉広
横山 良一	下野 紘史	秦 眞三	諏訪 純也
山岡 啓二	宮鍋 裕介	武村 泰宏	岩本 利雄
石原 弘通	竹中 義朗	渡部 英利	伊庭野 紀弘
舘 満治	吉田 康二	森田 竜矢	高岡 俊輔
木村 潔司	亀井 謙多	田島 孝一	吉本 茂正
河野 理博	藤岡 誠	三輪 史郎	

会費納入者芳名帳 (敬称略)

平成29年8月1日～12月8日現在

柴田 周平	井波 稔	畠山 進	長井 一剛
4年分	分部 久	仁藤 多喜男	安井 修三
神谷 洋	小谷 卓哉	菊地 栄輝	相原 隆志
竹中 五雄	三好 閑昌	長嶋 大介	一原 勝彦
飯野 実	峰 遠太郎	村岡 稔	森 健介
吉村 重登	埜 智子	板谷 拓実	芥川 俊久
内野 光博	曾我 隆弘	河田 英樹	萩原 智昭
加藤 航	冢田 靖士	田島 大己	藤野 晴久
西山 貴治	神田 修二	出木 翔平	杉山 栄作
濱崎 龍也	内田 成孝	山崎 真也	池田 和人
溝越 快人	北城 雄太	大坪 鴻介	麻生 惠毅
2年分	MOオシャンエキ	仁井岡 友康	徳田 健二
町 裕次	スパート	三木 良祐	鳴海 弘晃
山下 栄治	岡本 準二	清水水先区水先	杉山 治
末田 亮介	桑原 真樹	人会	中原 雅光
濱田 雅秀	角田 圭	中村 政一	半田 洋樹
森内 芳卓	鈴木 剛也	12月入金	出口 孝治
杉本 真吾	鈴木 剛也	個人入金	森 光生
矢澤 好正	角田 圭	竹元 健	熊谷 英樹
森田 啓二	桑原 真樹	中村 真澄	佐々木 努
川島 弘行	岡本 準二	栗崎 肇	梶山 勝徳
上野 昇	玉井商船	宮坂 昌弘	堀江 貴義
白井 栄三郎	清崎 哲也	共栄タンカー	岡本 二郎
加治原 二仁	千綿 信二	佐藤 好司	大下 尚
堀川 広了	石川 祐二	外谷 正彦	佐藤 祥二
城戸 裕晶	Jマリン	石田 健一郎	中西 智章
早稲田 慎也	杉山 博	浦田 建	渡邊 優
野場 修治	梶原 仁	中野 寛士	森 団平
安部 亮志	佐藤 信義	小林 利萌	岩本 真一
山本 隆史	原田 昭二	日本郵船	富田 佳彦
田邊 正彦	嵐 公司	藤田 繁	川上 哲治
坂井 康寛	原田 昭二	橋出 修一	永野 努
大野 光久	佐藤 信義	福間 功	蔵田 恒志郎
森成 哲也	梶原 仁	大類 健三郎	小西 智子
終身会員	杉山 博	澤田 和志	富士 竜太
三浦 武	大阪水先区水先人	田中 英治	高橋 英次
鶴飼 幹夫	会	中矢 真央	菅 篤志
杉森 四郎	森田 任紀	松村 茂実	應治 俊幸
大石 勝文	山友汽船	安達 昌弘	須磨 秀文
知識 康二	望月 正信	泉 良充	石井 秀典
新規加入(富山)	松林 祐馬	堂脇 幸男	笠松 法昭
中道 結実	北島 章市	中西 裕紀	古川 大樹
11月入金	前田 重信	森川 勉	成田 龍之介
個人	三浦 宗義	吉岡 哲也	久保 潤一
高鍋 隆典	川渕 仁	大木 昭和	岡田 悠紀

会費納入者芳名帳 (敬称略)

平成29年8月1日～12月8日現在

神田 和也	池田 和人	新田 真一	賛助会員 10月入金 広島商船校友会 富山高専北斗会 弓削商船同窓会 山友汽船(株) 北星海運(株)
川西 雄太	杉山 栄作	山本 真丈	
鈴木 直	藤野 晴久	鈴木 直也	
森下 辰郎	萩原 智昭	寺西 尚平	
三宅 俊哉	芥川 俊久	迫間 利紀人	
小林 佳寛	森 健介	山下 育孝	
下田 賢斗	一原 勝彦	沖原 邦彦	
山森 大幹	相原 隆志	片瀨 敏之	
内山 拓哉	安井 修三	山岡 宣之	
久保田 一顕	長井 一剛	宇佐見 航一	
岡田 悠紀	大木 昭和	木元 孝憲	11月入金 大島商船同窓会
久保 潤一	吉岡 哲也	徳山 公彦	12入金 鳥羽商船同窓会
成田 龍之介	森川 勉	福井 悟	この期間中物故者の連絡はありませんでした
古川 大樹	中西 裕紀	柴山 隆史	
笠松 法昭	堂脇 幸男	伊賀 勇治	
石井 秀典	泉 良充	児玉 賢志	
須磨 秀文	安達 昌弘	間島 崇夫	
應治 俊幸	松村 茂実	金子 大輔	
菅 篤志	中矢 真央	大宅 理志	
高橋 英次	田中 英治	上井 博明	
富士 竜太	澤田 和志	百合野 剛	
小西 智子	大類 健三郎	平木 恵介	
蔵田 恒志郎	福間 功一	酒井 勇樹	
永野 努	橋出 修一	濱松 直也	
川上 哲治	藤田 繁	佐々木 翔輝	
富田 佳彦	商船三井	漁野 智洋	
岩本 真一	末次 徳明	森光 誠	
森 団平	中川 敏昭	廣村 匡俊	
渡邊 優章	吉村 英昌	濱田 祐司	
中西 智二	浅田 幸一	松下 薫	
佐藤 祥二	藤川 政良	河本 優	
大下 尚	山口 智彦	中尾 拓弥	
岡本 二郎	田村 孝夫	阿部 誠	
堀江 貴義	山本 和之	梅田 尚宏	
梶山 勝徳	和田 雅人	染矢 真行	
佐々木 努	藤井 仁	田川 寛大	
熊谷 英樹	枝次 真治	渡邊 真史	
森 光生	中塚 達也	早柏 隆太	
出口 考治	朝日 健二	溝瀨 真太郎	
半田 洋樹	綱島 毅	杉野 智巨	
中原 雅光	滝浦 文隆	越田 巨	
杉山 治	竹原 敏宏	宇都宮 航平	
鳴海 弘晃	栗原 誠	栗阪 肇	
徳田 健二	橋口 靖生		
麻生 恵毅	萩原 栄		



幼児教育と高等教育

「意欲と能力がありながら、家庭の経済的事情で進学を断念する若者を可能な限り減らしたい」。正に正論と考えるところである。他方選挙時期になると各党が児童保育を含めて幼児教育の無償化または高等教育進学の公費援助を分かり易い具体的説明も無く有権者に訴えるのは、単なる票集めであり、国民を代表して取組むべき方々にはあまりにも情けない姿であると思うのは私だけで

あろうか？

幼児教育の大切さは各教育論者から報じられており、勉強が好きになるかどうかは幼児期に決まるものだから、義務教育とそれ以前の家庭教育が決定的に重要であると言われている。

保育所が足りない、保育士が不足しているとの関連ニュースは耳にタコが出る程流れるが、対策が後回しにされ5年以上も掛かってようやく給与条件の見直しにたどり着く有様は、一般企業では倒産している状況です。この様な政治・行政の進め方で本当に国の未来を託す子供の教育方針が出せるのでしょうか？

(2017年12月3日読売新聞参照) TO記

表紙写真 校内練習船「弓削丸」 提供先 弓削商船高等専門学校

5番目の表紙写真は、弓削商船高等専門学校校内練習船「弓削丸」です。

本船は、三井造船玉野造船所で製造され、平成6年(1994年)3月に竣工しました。

本船の要目は次の通りです。

航行区域：近海区域、総トン数：240トン、全長：40.00m、幅：8.00m、満載喫水：2.8m、
主機関：ダイハツ4サイクル中速ディーゼル機関(1300ps×750rpm)、速力：13.75ノット
航続距離：2,300海里、最大搭載人員：56人(乗組員9名・教員3名・学生44人)

編集後記

2年ごとに本会の役員選挙が行われ、通常総会に於いて継続される方、新規になされる方が選ばれます。平成30年6月予定の総会に向けて11月20日に「役員候補者選考委員会」を立ち上げ、今後の進め方を確認の上「公示」等に取り組む処です。

平成30年1月末の第2回役員候補者選考委員会等で区分別役員候補者が推薦・調整されて、会長及び理事会に報告され、承認を受けて役員候補者として会員に周知されますが、通常総会に出席出来ない会員からは不在投票用紙又はメール等の決められた方法にて投票されます。

毎回事務局を悩ますのが締切時期迫る中、投票用紙の回収が過半数に達成しない時であり、最終的に提出していない会員の方々に催促の電話をする時です。今回はその様な事にならぬよう祈るだけである。

TO記

全船協 No.136 夏季号

平成29年12月 発行

◇発行所・一般社団法人 全日本船舶職員協会 ◇編集兼発行人 及川 武司
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目3番地 金子ビル206号室
TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653
E-mail : honbu@zensenkyo.com URL : <http://www.zensenkyo.com>

Tokyo Bay Licensed Pilots' Association

東京湾水先区水先人会

会長 西本 哲明

本部 〒231-0023 横浜市中区山下町1番2 パイロットビル 代表 TEL (045) 650-3180 FAX(045) 663-4811

URL: <http://www.tokyobay-pilot.jp>

オペレーション部 TEL (045) 681-4081 FAX(045) 681-4090

TEL (045) 681-4091

東京事務所 〒108-0022 東京都港区海岸3丁目33番17号

TEL (03) 3453-1691 FAX(03) 3453-4025

千葉事務所 〒260-0023 千葉市中央区出洲港15番1号

TEL (043) 242-6391 FAX(043) 248-2553

木更津事務所 〒292-0836 木更津市新港8番5号

TEL (0438) 36-0700 FAX(0438) 36-4696

川崎事務所 〒210-0869 川崎市川崎区東扇島38番地1 602号室

TEL (044) 266-8877 FAX(044) 266-8877

横須賀事務所 〒239-0831 横須賀市久里浜8丁目10番6号

TEL (046) 835-5709 FAX(046) 835-4977



内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 齋藤 寛

〒650-0042

神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階

電話 (078) 332-7191 FAX (078) 391-7157

E-MAIL info@inlandsea-pilots.jp

田子の浦水先区水先人会

会長 大久保 博史

副会長 漆 畑 忠雄

〒416-0936 静岡県富士市中河原28-2

電話 (0545) 33-0734

伊勢三河湾水先区水先人会

合同事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地1番5
電話 (0569) 23-0713

名古屋事務所

〒455-0033 愛知県名古屋市長区港町1番9号
電話 (052) 654-1281

関門水先区水先人会

会長 佐藤 元 洋

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目4番24号

電話 (093) 332-2384(代)

鹿島水先区水先人会

会長 内田 裕 二

〒314-0052 茨城県神栖市居切1909-16

電話 (0299) 82-5515

FAX (0299) 82-6205

清水水先区水先人会

会長 中村 政 一

副会長 檜 垣 漸

〒424-0922 静岡市清水区日の出町10番80号

清水マリナーミナル3F

電話 (054) 352-2191

FAX (054) 351-0527

平成19年第9回グリーン購入大賞優秀賞
平成21年第3回ものづくり日本大賞優秀賞
平成22年資源循環技術・システム表彰
平成23年第1回エコマークアワード奨励賞

広域認定事業所 株式会社おぎそ

会長 小木曾 順務

〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1468

電話 0572-59-8639 FAX 0572-59-4546

商船士官の臨検生活かし、10年前の食器中のポリキサイト全資源化しエコマーク付きの給食用給食器を開発し全国展開。この実績臨検生活かし、今年度新選理事賞(臨検省補助)で「高PETボトルを自主回収しPET食器を製造販売する事業」で認定を受け事業展開に入る。ご支援をお願いします。

大阪湾水先区水先人会

会長 片岡 徹

〒650-0042 神戸市中央区波止場町1-5

電話 (078) 321-7221

FAX (078) 321-5307



<マリタイムカレッジシリーズ>
はじめての船しごと

海事教育機関に入学した学生が、
船員としての基礎を学ぶ教科書。

新書判で持ち運びやすく、カラー写真を多用しているため初心者でも分かりやすい。
学生が最初に学ぶカッターやロープワークを始め、船員としての心構えやセーリング、
安全の確保などについても解説。

商船高専キャリア教育研究会 編 新書判 136頁 定価(本体1,800円+税)

基礎から学ぶ 海運と港湾

船舶工学、海洋工学、クルーズビジネスなどの分野における専門家である著者が、日本
経済を支える海運、海上輸送を担う船舶、人流・物流の拠点である港を中心に、入門書
としてまとめた。多数の写真やイラストを使用し、コラムも交えながら分かりやすく解説。



池田良穂(大阪府立大学名誉教授) 著

A5判 224頁 定価(本体2,300円+税)

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4
TEL 03-3815-3292 FAX 03-3815-3953

海文堂出版

http://www.kaibundo.jp/
e-mail: hanbai@kaibundo.jp

宿泊設備(海員会館)のご案内

ご宿泊・お食事・ご会合に、どなたでもご利用頂けます。

ナビオス横浜



1階 レストラン
Ocean
RESTAURANT

※写真はイメージです。

ナビオス横浜



3階 バーラウンジ
Seamen's Club



ナビオス横浜
International Seamen's Club & Inn
TEL : (045) 633-6000

川崎会員会館 TEL : (044) 233-5896
エスカル横浜 TEL : (045) 681-2141
エスカル神戸 TEL : (078) 341-0112

一般財団法人 日本船員厚生協会 (045) 319-4506
ホームページ <http://www.jswa.or.jp>



海関係のお客様は全日本海員組合の組合員のご紹介があれば
特別価格にてご婚礼・ご宴会・ご宿泊がご利用いただけます。

ようこそ美食のホテル
マリナーズコート東京へ

ご婚礼・ご宴会・各種会合・ご宿泊

レインボーブリッジをはじめとする東京湾の素敵な景観とともに
ごゆっくりお過ごしいただけます。

HOTEL
Mariners' Court TOKYO

ホテルマリナーズコート東京 〒104-0053 東京都中央区晴海 4-7-28 ご予約 TEL.03-5560-2525

■ センボスの宿・健康診断 ■



一般財団法人

船員保険会

会長 霜鳥 一彦

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6
SEMPOSEビル 6・7階
電話 (03) 3407-6061 FAX (03) 3407-6597
URL <http://www.sempos.or.jp>

船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の貨物
船舶修理、検査工事の請負及びコンサルタント。

K2 シップマネジメント株式会社

代表取締役 可児 紘之(鳥羽S39E)

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14
パークヴィア横浜 巻番館306

電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916
E-mail : kani@ksh.biglobe.ne.jp